

松原市子ども・子育て支援に関する  
ニーズ等調査  
結果報告書  
【概要版】

平成31年3月

松原市

# 目次

<b>調査の概要</b> .....	1
1 調査目的 .....	1
2 実施要領 .....	1
<b>調査結果の概要</b> .....	2
1 回答者および家族の属性 .....	2
2 保護者の就労状況（就学前児童） .....	3
3 幼稚園や保育所などの施設やサービスの利用（就学前児童） ..	5
4 幼児教育・保育の無償化について（就学前児童） .....	9
5 病気やけがの際の対応（就学前児童・就学児童） .....	10
6 不定期的な一時預かりの利用（就学前児童・就学児童） .....	13
7 放課後の過ごし方（就学前児童・就学児童） .....	17
8 留守家庭児童会室（学童保育）の利用（就学前児童・就学児童） .....	19
9 地域の子育て支援サービスの利用（就学前児童） .....	25
10 子育てと仕事の両立（就学前児童） .....	27
11 子育てに関する意識・動向（就学前児童・就学児童） .....	32
12 妊娠中の方への調査 .....	36
13 市などに充実させてほしい子育て支援サービス .....	40

# 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、「第二期松原市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、市内にお住いの就学前のお子さんがおられるご家庭、小学生のお子さんがおられるご家庭、妊娠中の方にアンケート調査を実施し、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や、施策に対する意向を把握し、今後の本市における子ども・子育て支援施策の推進のための基礎資料として活用することを目的としています。

## 2 実施要領

### ①就学前児童調査

- 調査対象：市内在住就学前のお子さんがおられるご家庭 1,800 件  
(無作為抽出)
- 調査期間：平成 31 年 1 月 11 日～1 月 31 日
- 調査方法：調査票による本人記入方式（郵送による配布・回収）
- 有効回収数：859 件（回収率 47.7%）※前回調査 871 件（回収率 48.4%）

### ②就学児童調査

- 調査対象：市内在住小学生のお子さんがおられるご家庭 1,000 件  
(無作為抽出)
- 調査期間：平成 31 年 1 月 11 日～1 月 31 日
- 調査方法：調査票による自己記入方式（郵送による配布・回収）
- 有効回収数：401 件（回収率 40.1%）※前回調査 502 件（回収率 50.2%）

### ③妊娠中の方への調査

- 調査対象：市内在住妊娠中の方 200 件
- 調査期間：平成 31 年 1 月 11 日～1 月 31 日
- 調査方法：調査票による自己記入方式  
(母子健康手帳交付時等での手渡しによる配布・郵送回収)
- 有効回収数：29 件（回収率 14.5%）※前回調査 144 件（回収率 72.0%）

# 調査結果の概要

---

## 1 回答者および家族の属性

---

### ①就学前児童調査

- 回答者は、「母親」が92.9%、「父親」が6.8%。
- 子どもの年齢（平成31年1月時点）は、「0歳」が15.0%、「1歳」が14.7%、「2歳」が14.3%、「3歳」が14.1%、「4歳」が15.7%、「5歳」が15.3%、「6歳」が9.4%。
- 子どもの人数は、「1人」が28.3%、「2人」が52.0%、「3人」が15.9%。
- 家族構成は、「父と母と一緒に住んでいる」が89.6%、「母子家庭」が5.8%、「父子家庭」が0.0%。

### ②就学児童調査

- 回答者は、「母親」が90.3%、「父親」が9.2%。
- 子どもの年齢（平成31年1月時点）は、「6歳」が2.7%、「7歳」が14.7%、「8歳」が15.7%、「9歳」が19.7%、「10歳」が16.0%、「11歳」が18.0%、「12歳」が12.0%。
- 子どもの人数は、「1人」が15.5%、「2人」が53.1%、「3人」が24.4%。
- 家族は、「父と母と一緒に住んでいる」が82.5%、「母子家庭」が14.7%、「父子家庭」が0.7%。

### ③妊娠中の方への調査

- 年齢は、「20歳代」が31.0%、「30歳代」が69.0%。
- 同居人は、「配偶者（事実婚を含む）」が96.6%、「子ども」が69.0%。
- 出産予定地は、「松原市」が62.1%、「松原市以外の大阪府内」が24.1%、「大阪府外」が10.3%。
- 出産経験は、「今までに出産したことがある」が69.0%、「初めての出産」が31.0%。

## 2 保護者の就労状況（就学前児童）

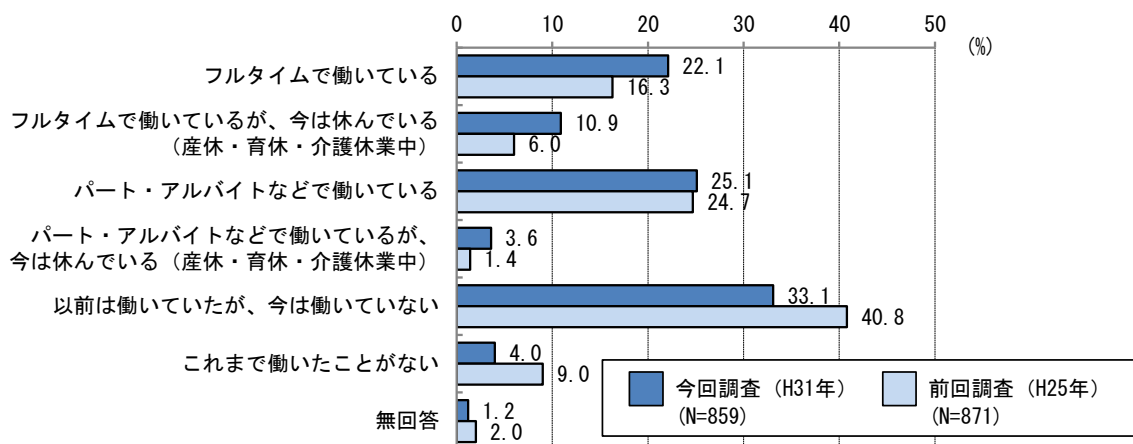
### 〔1〕母親の就労状況【就学前児童 問12~14】

◎母親の就労率は6割。うち、フルタイム就労は3割で、前回より増加。

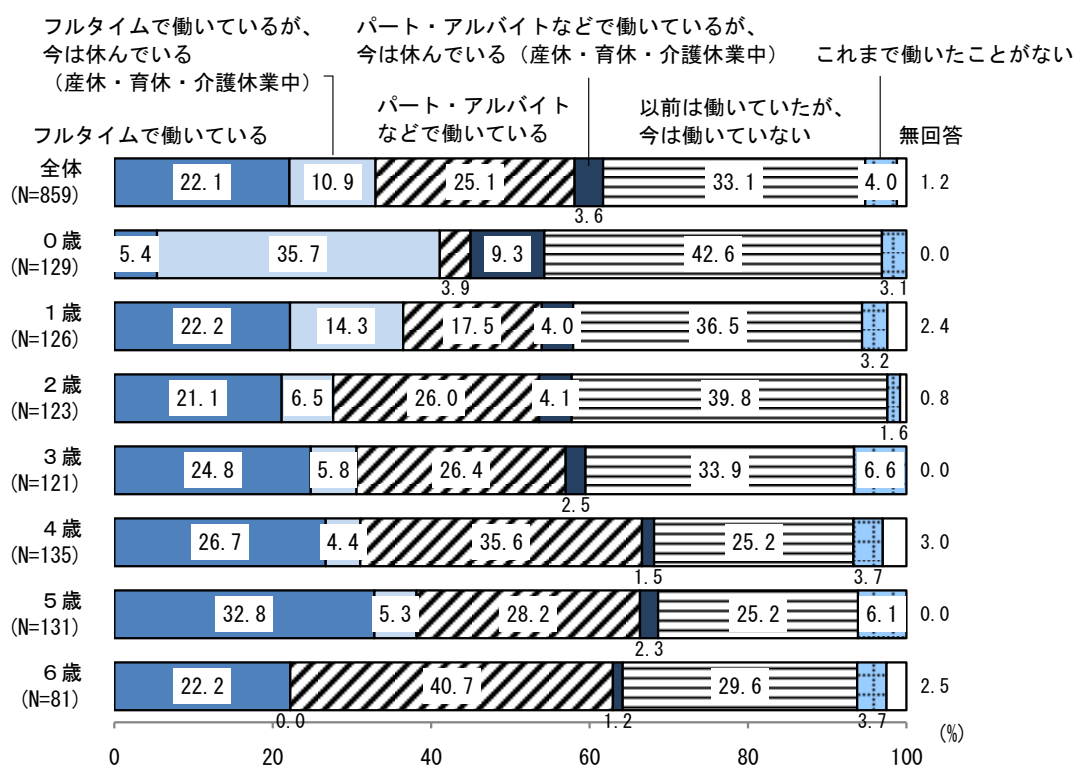
◎フルタイムは「0歳」「5歳」、パート・アルバイトは「6歳」が多い。

- ・母親の就労状況は、「フルタイムで働いている」の合計（休業中含む）が33.0%、「パート・アルバイトなどで働いている」の合計が28.7%、未就労者の合計が37.1%となっています。
- ・就労している母親の合計（産休・育休・介護休業中を含む）は61.7%と、前回調査時（48.4%）に比べて13.3ポイント増加しています。
- ・年齢別にみると、就労している母親の合計は、年齢が上がるにつれて増え、「5歳」（68.6%）、「4歳」（68.2%）で多くなっています。

【母親の就労状況】



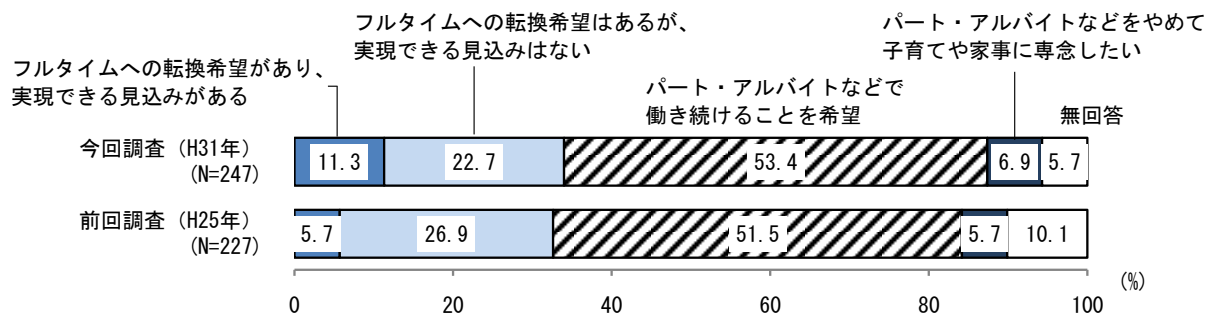
【年齢別 母親の就労状況】



◎「フルタイムへの転換希望がある」母親は合計 34.0%。

- ・「パート・アルバイトなどで就労している」母親の、フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 11.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.7%で、「フルタイムへの転換希望がある」人は合計 34.0%となっています。

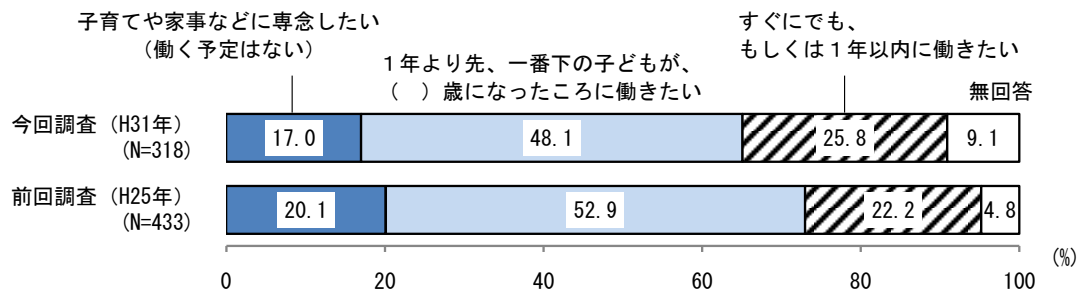
【母親のフルタイムへの転換希望】



◎未就労の母親のうち、就労希望のある人は合計 73.9%。

- ・「以前は働いていたが、今は働いていない」「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「1年より先、子どもが( )歳になったころに働きたい」が 48.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 25.8%で、就労希望者は合計 73.9%となっています。

【働いていない母親の就労希望】



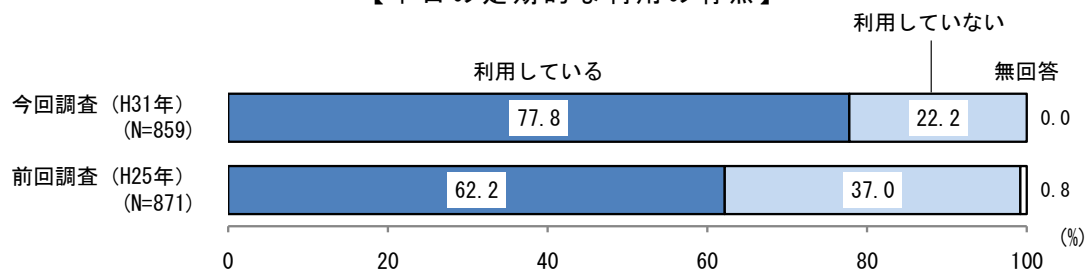
### 3 幼稚園や保育所などの施設やサービスの利用（就学前児童）

#### 〔1〕幼稚園や保育所などの施設やサービスの平日の定期的な利用【就学前児童問18】

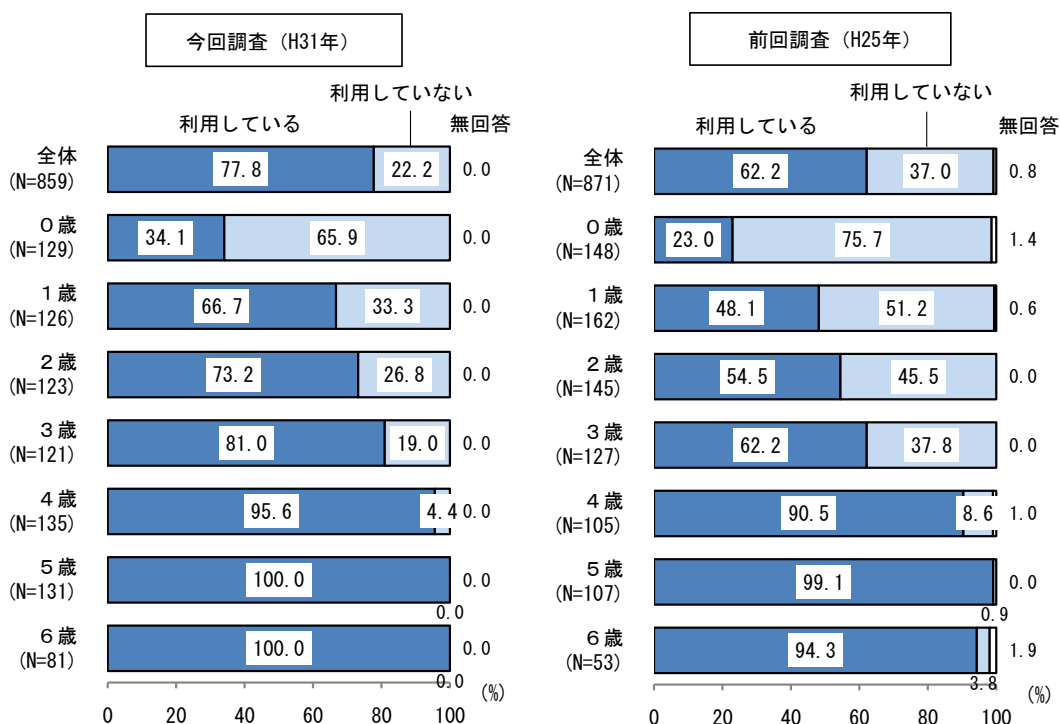
◎平日の定期的な利用者は約8割。

- ・平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」人は77.8%で、前回調査に比べて、15.6ポイント増加しています。
- ・年齢別にみると、「利用している」は「0歳」で34.1%、「1歳」では66.7%と、年齢があがるごとに増えていき、4歳以上では9割を超えています。

【平日の定期的な利用の有無】



【年齢別 平日の定期的な利用の有無】

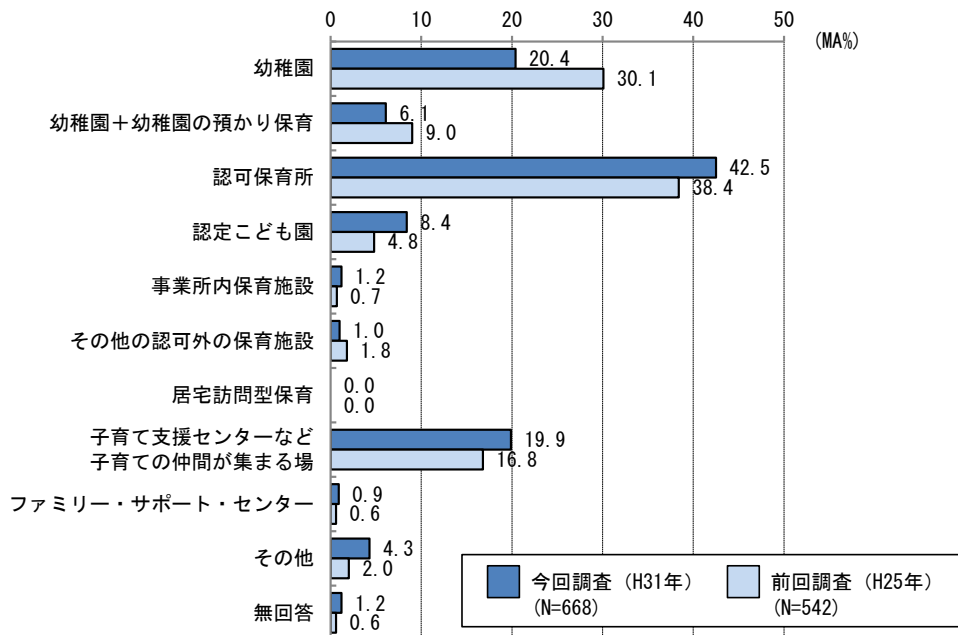


〔2〕 平日に定期的に利用している施設やサービスの利用状況【就学前児童問18】

◎ 「認可保育所」が42.5%、「幼稚園」が20.4%。

- ・ 平日に定期的に利用している施設やサービスは、「認可保育所」が42.5%と最も多く、次いで、「幼稚園」が20.4%、「子育て支援センターなど子育ての仲間が集まる場」が19.9%となっています。
- ・ 前回調査に比べて、「認可保育所」が4.1ポイント、「認定こども園」が3.6ポイント増加し、「幼稚園」が9.7ポイント減少しています。

【平日に定期的に利用している施設やサービス】



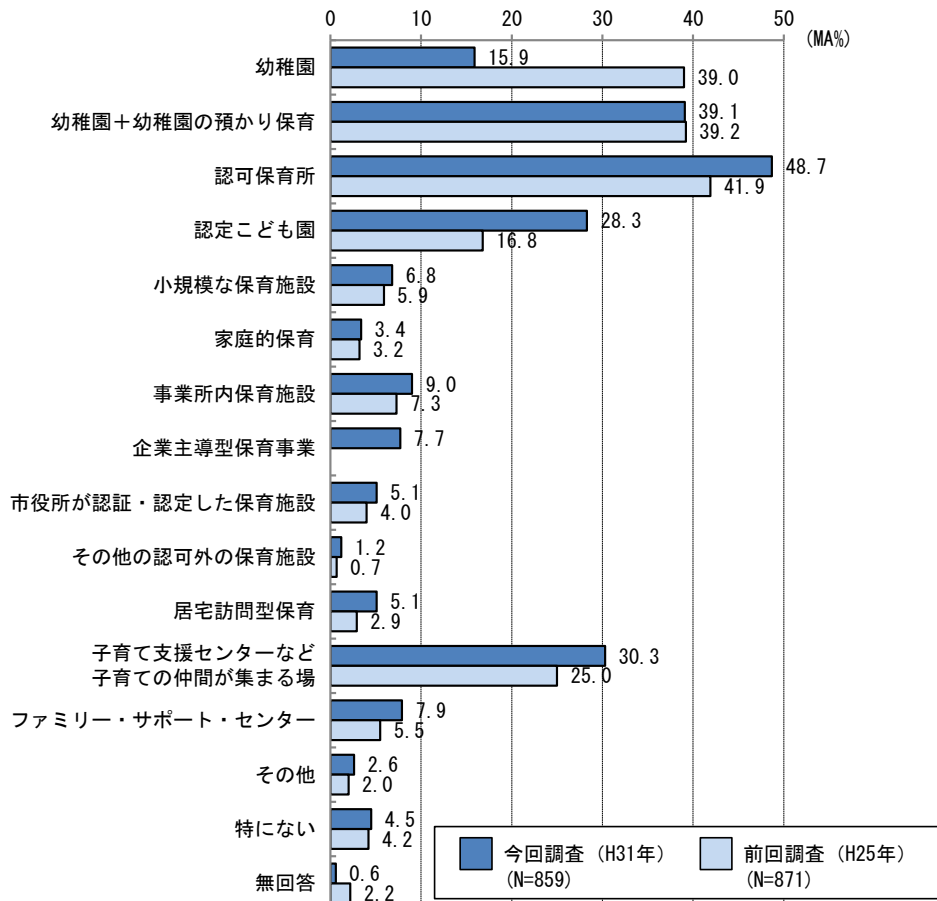


〔3〕 平日に定期的にご利用したい施設やサービスの利用意向【就学前児童 問20】

◎ 「認可保育所」が 48.7%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 39.1%。

- ・平日に定期的にご利用したい施設やサービスは、「認可保育所」が 48.7%と最も多く、次いで、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 39.1%となっています。
- ・前回調査に比べて、「認定こども園」が 11.5 ポイント、「認可保育所」が 6.8 ポイント増加し、「幼稚園」が 23.1 ポイント減少しています。

【平日に定期的にご利用したい施設やサービス】

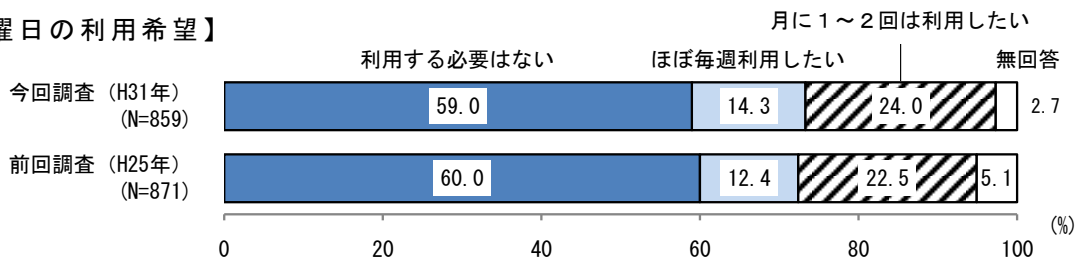


#### 〔4〕土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望【就学前児童 問22-1、22-2】

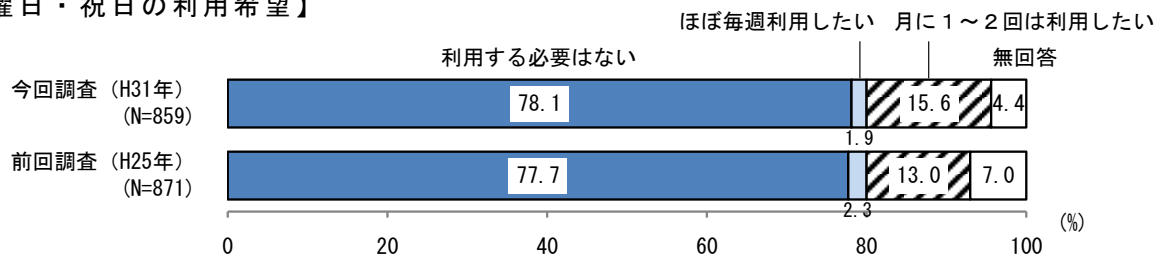
◎利用希望者は土曜日が4割、日曜日・祝日が約2割、長期休暇中が6割。

- ・幼稚園や保育所などの施設やサービスの、土曜日の利用については、「ほぼ毎週利用したい」が14.3%、「月に1～2回は利用したい」が24.0%で、利用希望者は合計38.3%となっています。
- ・日曜日・祝日の利用については、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%、「月に1～2回は利用したい」が15.6%で、利用希望者は合計17.5%となっています。
- ・長期休暇中の幼稚園や保育所などの利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」が15.8%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が44.6%で、利用希望者は合計60.4%となっています。

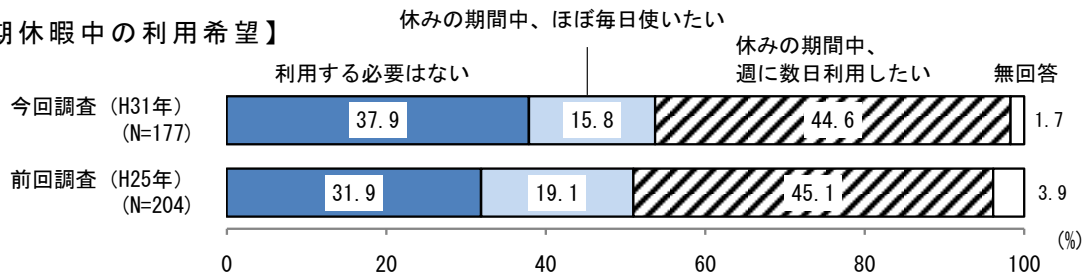
##### 【土曜日の利用希望】



##### 【日曜日・祝日の利用希望】



##### 【長期休暇中の利用希望】



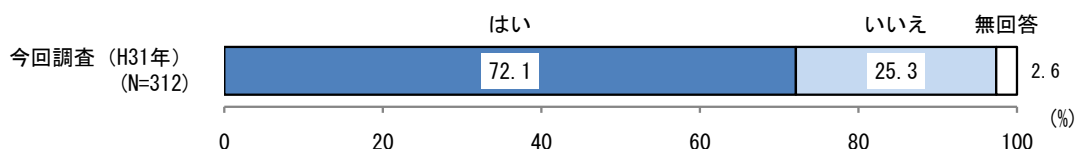
#### 〔5〕幼稚園の利用希望【就学前児童 問20-1】

新規設問

◎幼稚園の利用を強く希望する人は72.1%。

- ・平日に利用したい施設やサービスで「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ、幼稚園以外の施設やサービスにも○をつけた方で、特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する人は、72.1%となっています。

##### 【幼稚園の利用希望】



## 4 幼児教育・保育の無償化について（就学前児童）

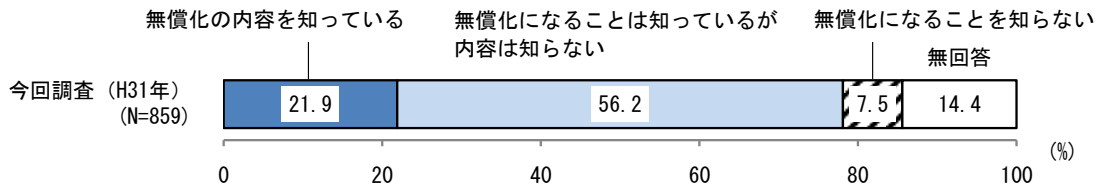
### 〔1〕 幼児教育・保育の無償化の認知【就学前児童 問21-1】

新規設問

◎「無償化の内容を知っている」は2割。

- ・幼児教育・保育の無償化について、「無償化の内容を知っている」人は21.9%、「無償化になることは知っているが内容は知らない」人は56.2%、「無償化になることを知らない」が7.5%となっています。

【幼児教育・保育の無償化の認知】



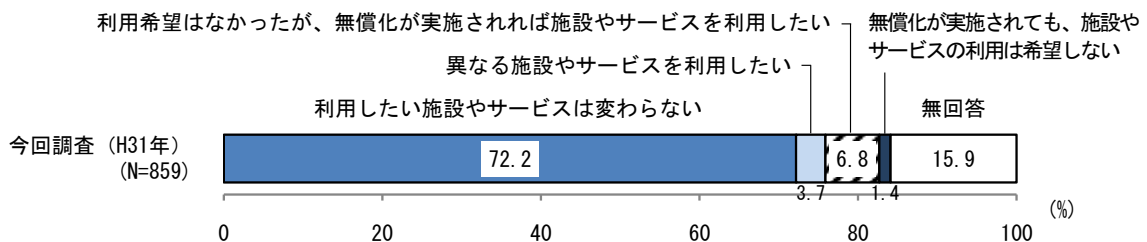
### 〔2〕 無償化による利用希望の変化【就学前児童 問21-2】

新規設問

◎無償化されても「利用したい施設やサービスは変わらない」が7割。

- ・無償化の実施により利用したい施設やサービスが変わるかについては、「利用したい施設やサービスは変わらない」が72.2%となっています。

【無償化による利用希望の変化】



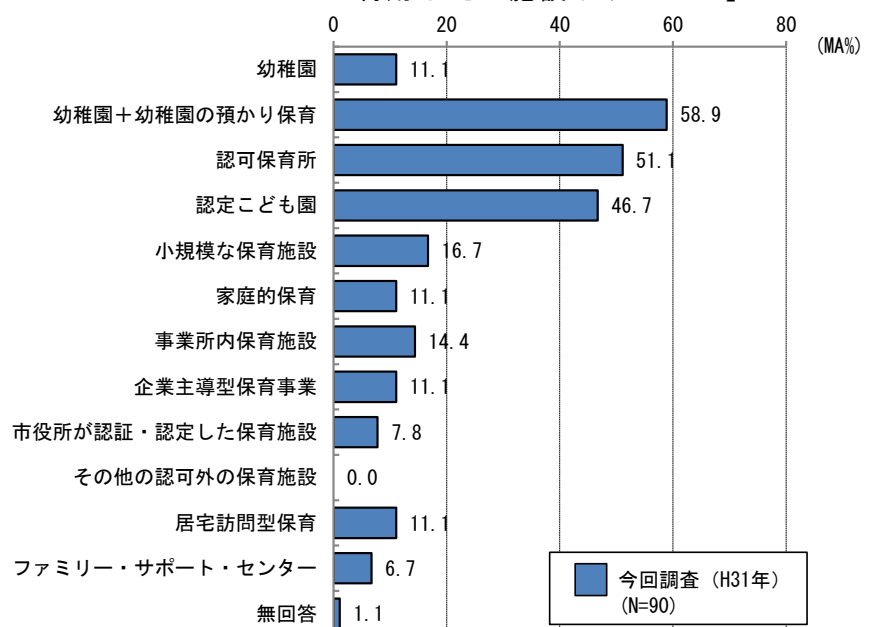
### 〔3〕 無償化された場合に利用したい施設やサービス【就学前児童 問21-3】

新規設問

◎「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が6割、「認可保育所」が5割。

- ・無償化が実施されれば、「異なる施設やサービスを利用したい」「利用希望はなかったが、施設やサービスを利用したい」とお答えの方が、無償化実施後に平日に定期的に利用したいと思う施設やサービスは、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が58.9%と最も多く、次いで、「認可保育所」が51.1%、「認定こども園」が46.7%となっています。

【無償化された場合に利用したい施設やサービス】



## 5 病気やけがの際の対応（就学前児童・就学児童）

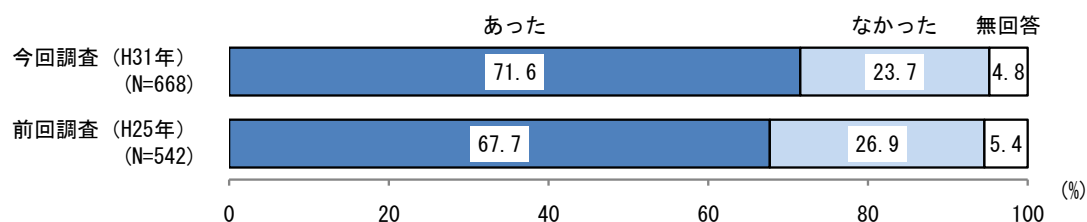
### 〔1〕病気やけがで幼稚園・保育所、学校などを欠席した経験とその対処方法

#### （1）就学前児童【就学前児童 問19、19-1】

◎「経験あり」が7割。

- ・平日に、定期的に幼稚園や保育所などを「利用している」方で、この1年間に、子どもの病気やけがで利用できなかったことが「あった」人は71.6%となっています。

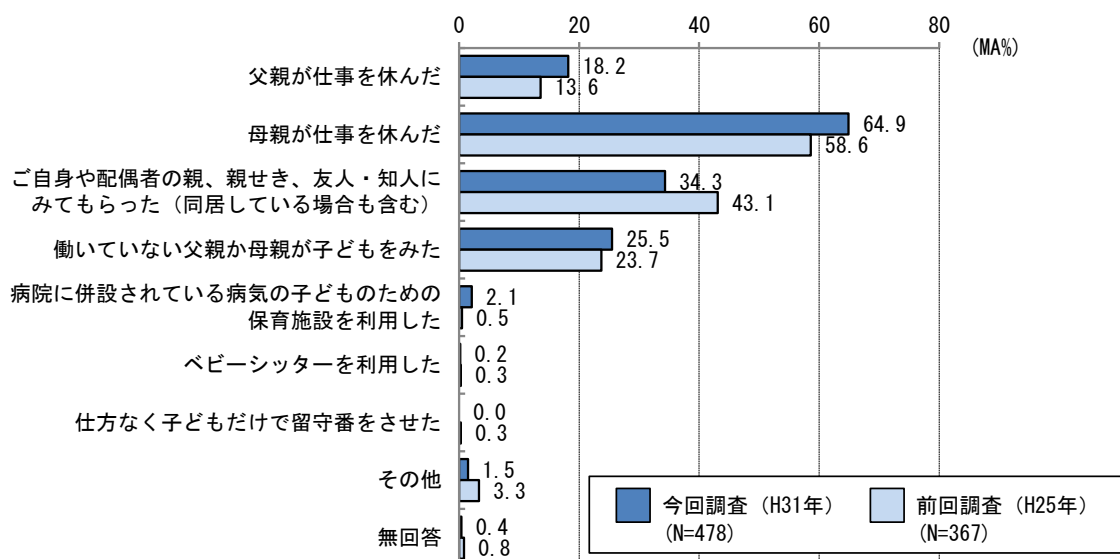
【この1年間に幼稚園・保育所などを欠席したこと】



◎「母親が仕事を休んだ」が6割強。

- ・この1年間に、子どもの病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったときの対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が64.9%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が34.3%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が25.5%となっています。
- ・前回調査に比べて、「母親が仕事を休んだ」は6.3ポイント増加し、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」は8.8ポイント減少しています。

【病気やけがの際の対処方法】

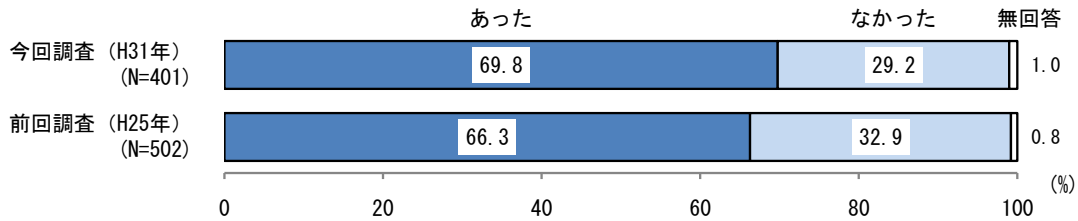


## (2) 就学児童【就学児童 問19、19-1】

### ◎「経験あり」が7割。

- ・この1年間に、子どもの病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」人は69.8%となっています。

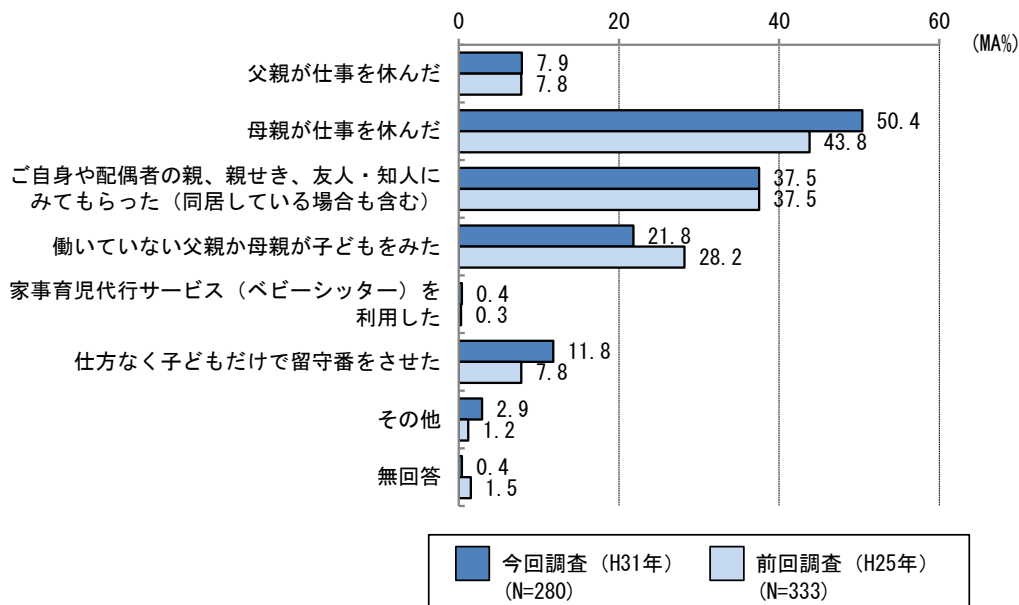
【病気やけがで小学校を欠席したこと】



### ◎「母親が仕事を休んだ」が5割。

- ・この1年間に、病気やけがで小学校を休まなければならなかったときの対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が50.4%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が37.5%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が21.8%となっています。
- ・前回調査に比べて、「母親が仕事を休んだ」は6.6ポイント増加し、「働いていない父親か母親が子どもをみた」は6.4ポイント減少しています。

【病気やけがの際の対処方法】

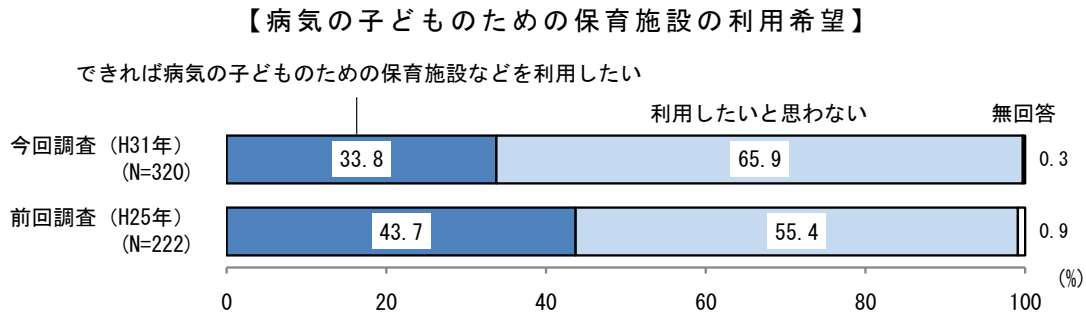


## 〔2〕 病気の子どものための保育施設の利用希望

### （1） 就学前児童【就学前児童 問19-2】

◎ 「利用したい」は3割。

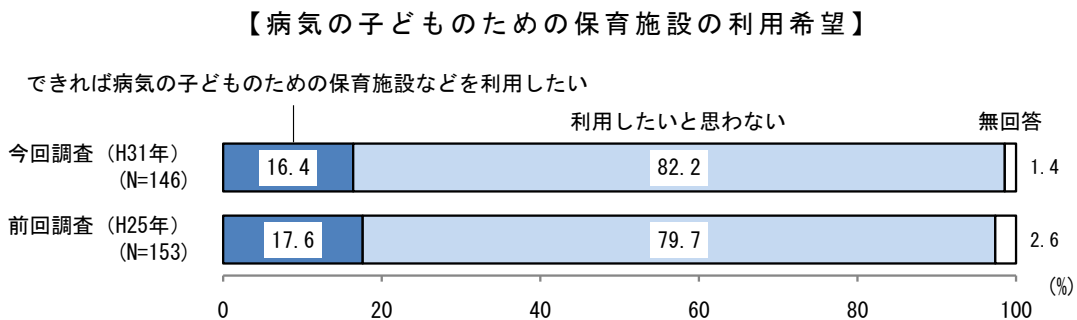
- ・ 子どもの病気やけがの際に「父親または母親が休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は33.8%で、前回調査に比べて9.9ポイント減少しています。



### （2） 就学児童【就学児童 問19-2】

◎ 「利用したい」は2割弱。

- ・ 子どもの病気やけがの際に「父親または母親が休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は16.4%、「利用したいと思わない」は82.2%となっています。



## 6 不規則な一時預かりの利用（就学前児童・就学児童）

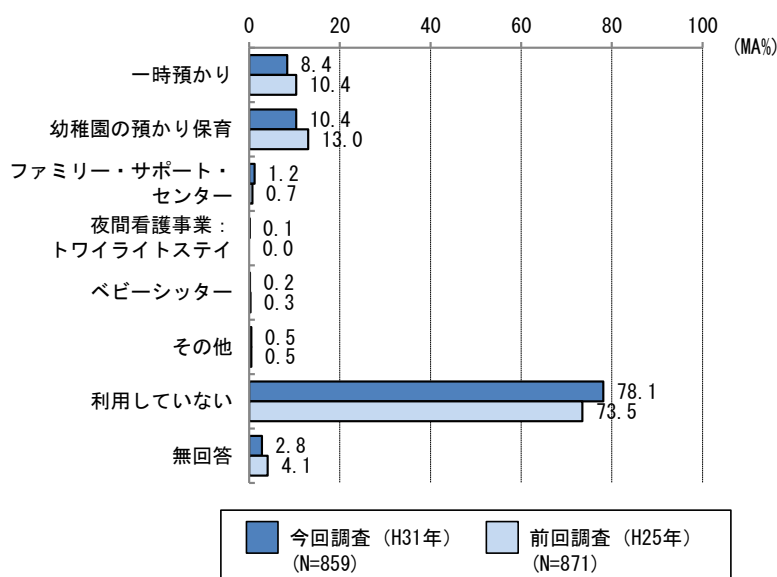
### 〔1〕不規則な一時預かりの利用

#### （1）就学前児童【就学前児童 問32】

◎「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」で1割程度。

- ・親の通院、不規則な仕事などを理由として、「不規則に」利用したサービスは、「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」で1割程度みられますが、「利用していない」が78.1%となっています。

【不規則に利用した預かりサービス】

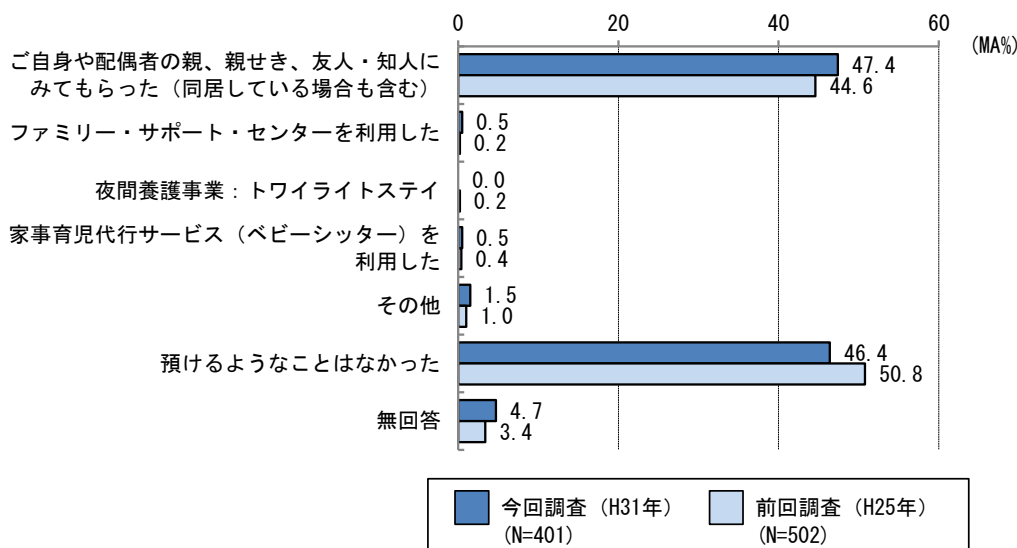


#### （2）就学児童【就学児童 問20-1】

◎「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が5割。

- ・親の通院、不規則な仕事などを理由として子どもを一時的に預けた経験としては、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が47.4%で最も多くなっていますが、「預けるようなことはなかった」も46.4%みられます。

【子どもを一時的に預けたこと】

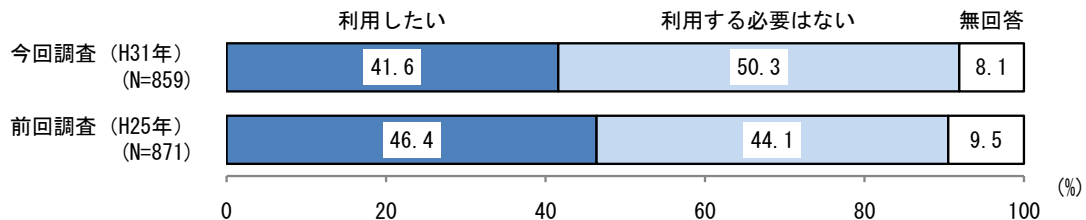


## 〔2〕一時預かりの利用意向・利用目的【就学前児童 問33】

◎利用意向は4割。

- ・保育所などで実施されている「一時預かり」を「利用したい」は41.6%、「利用する必要はない」は50.3%となっています。

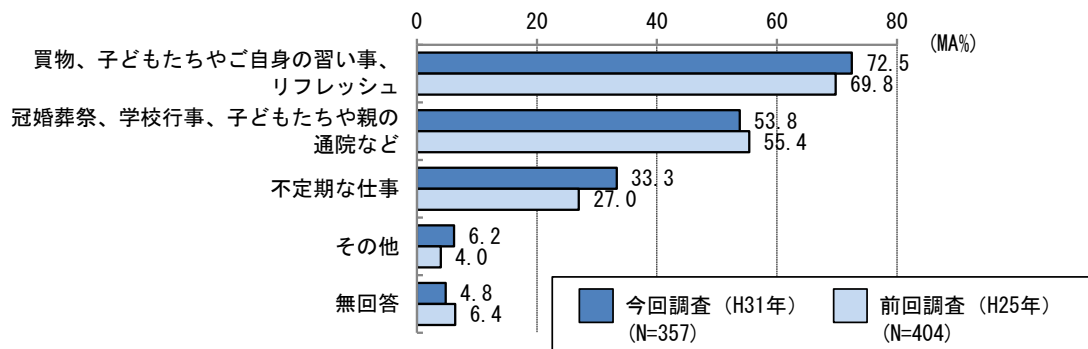
【不定期的な一時預かりの利用意向】



◎利用目的は「買物、習い事、リフレッシュ」が72.5%。

- ・「一時預かり」を「利用したい」方の利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が72.5%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が53.8%、「不定期的な仕事」が33.3%となっています。

【利用希望者の利用目的】

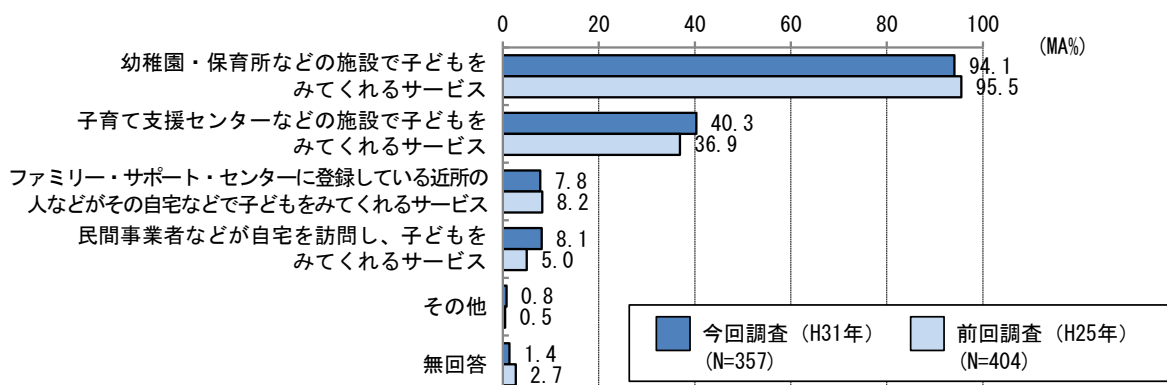


## 〔3〕一時預かりに望ましいサービス【就学前児童 問33-1】

◎「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」が9割。

- ・「一時預かり」を「利用したい」方に、「一時預かり」として子どもを預けるのに望ましいと思われる子育て支援サービスをたずねたところ、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス」が94.1%と最も多く、次いで、「子育て支援センターなどの施設で子どもをみてくれるサービス」が40.3%となっています。

【「一時預かり」に望ましいサービス】





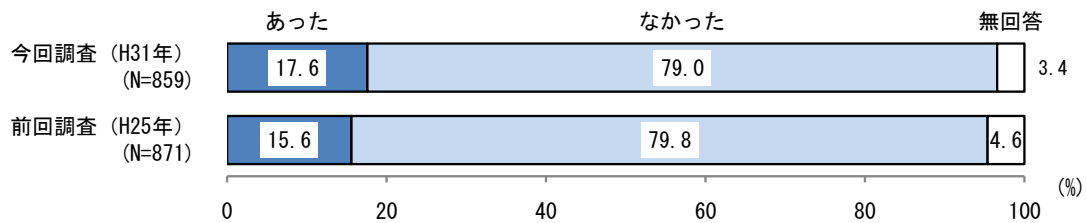
## 〔４〕子どもを泊まりがけで預けた経験

### （１）就学前児童【就学前児童 問34】

◎「経験あり」は２割弱。

- ・この１年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらうことが「あった」は17.6%となっています。

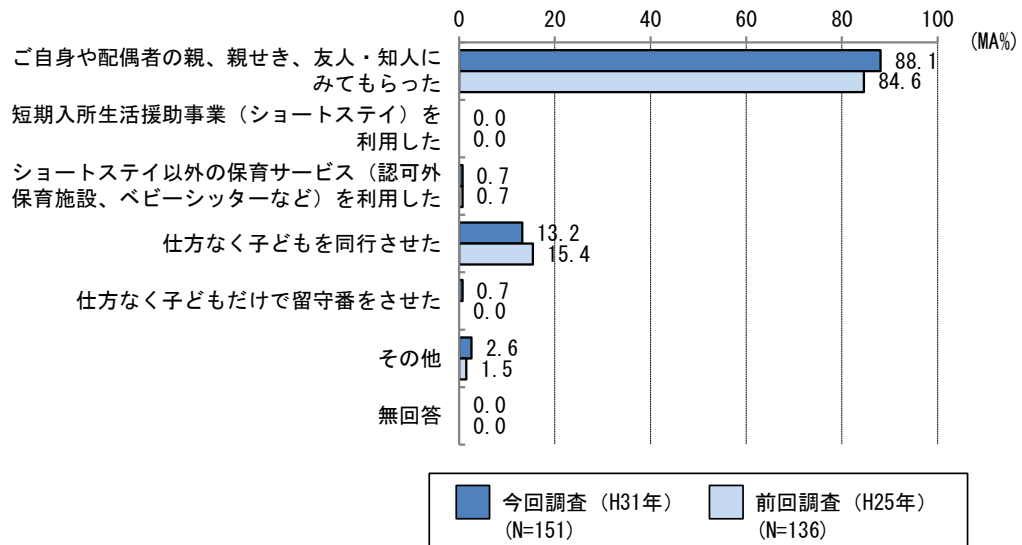
【子どもを泊まりがけで預けた経験】



◎「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が約９割。

- ・子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった際の、この１年間の対処の方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が88.1%と最も多く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」が13.2%となっています。

【１年間の対処の方法】

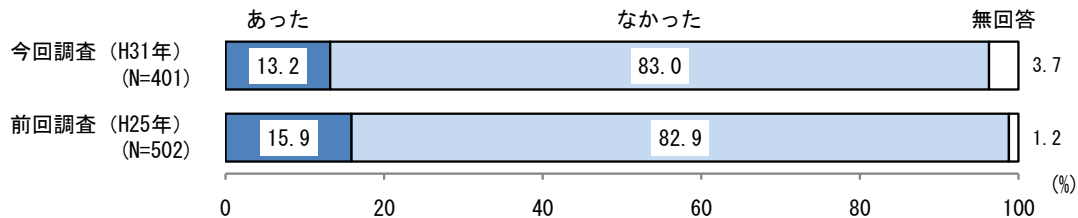


## (2) 就学児童【就学児童 問20-2】

### ◎「経験あり」は1割強。

- ・この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらうことが「あった」は13.2%となっています。

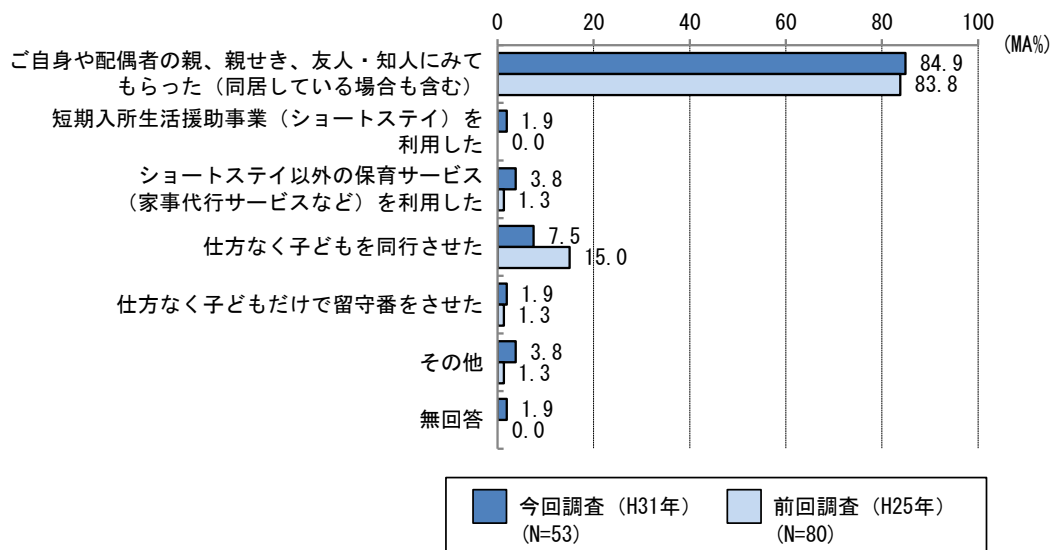
【子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった経験の有無】



### ◎「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が8割強。

- ・子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった際の、この1年間の対処の方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が84.9%と最も多くなっています。

【1年間の対処の方法】



## 7 放課後の過ごし方（就学前児童・就学児童）

### 〔1〕放課後を過ごさせたい場所

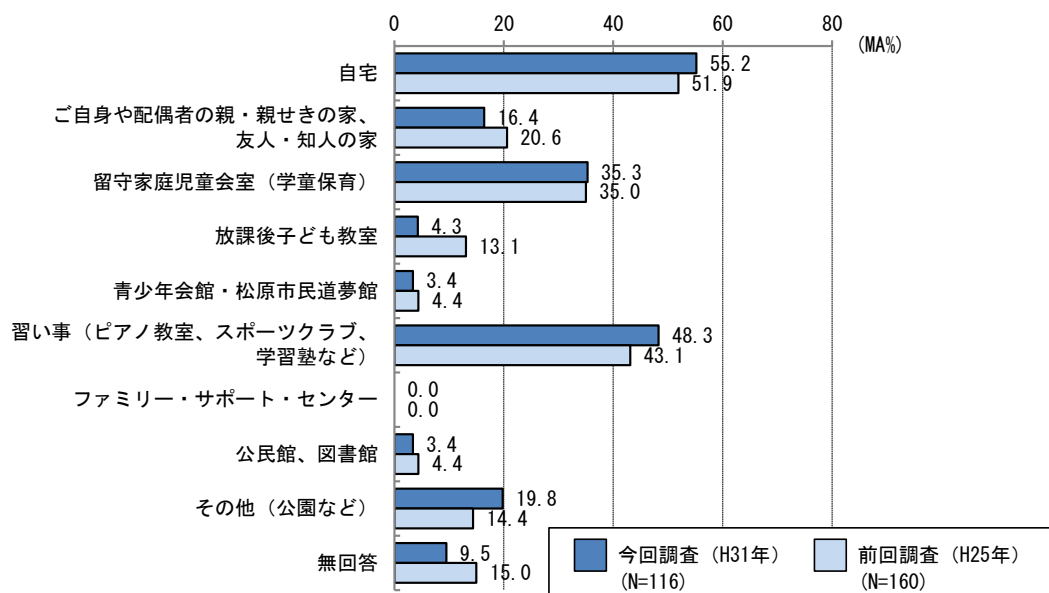
#### （1）就学前児童【就学前児童 問28、29】

◎低学年、高学年ともに「自宅」が最も多く、次いで、「習い事」。

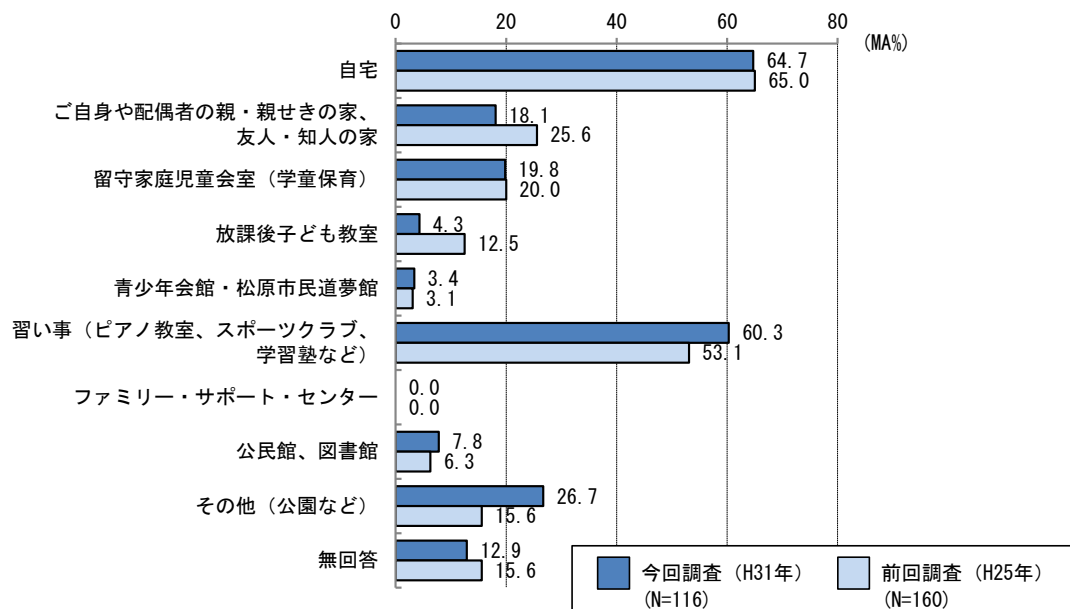
◎「留守家庭児童会室（学童保育）」は、低学年で 35.3%、高学年で 19.8%。

- ・ 5歳以上の子どもの保護者が、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が 55.2%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 48.3%、「留守家庭児童会室（学童保育）」が 35.3%となっています。
- ・ 小学校高学年（4～6年生）になったら放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が 64.7%と最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 60.3%となっています。

【低学年（1～3年生）のうち、放課後を過ごさせたい場所】



【高学年（4～6年生）になったら放課後を過ごさせたい場所】



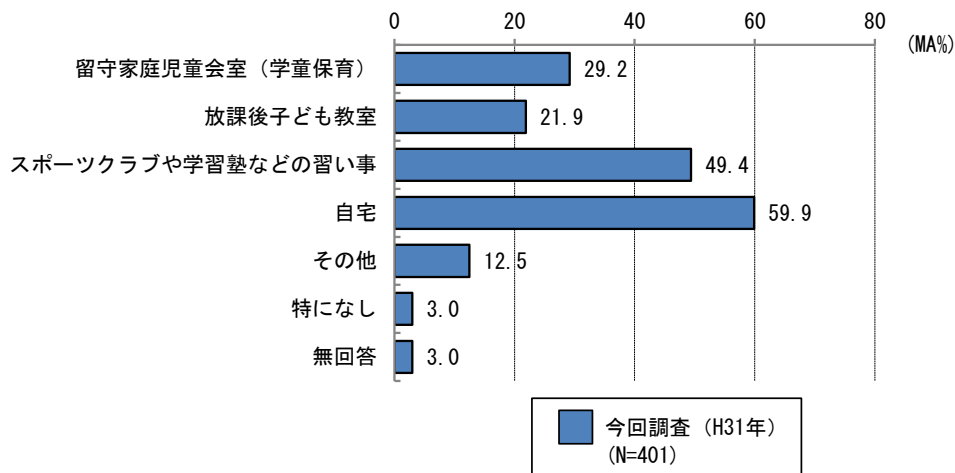
(2) 就学児童【就学児童問18-1、問18-2】 **新規設問**

◎低学年は「自宅」6割、「習い事」5割、「留守家庭児童会室（学童保育）」3割。高学年は「自宅」と「習い事」が約7割。

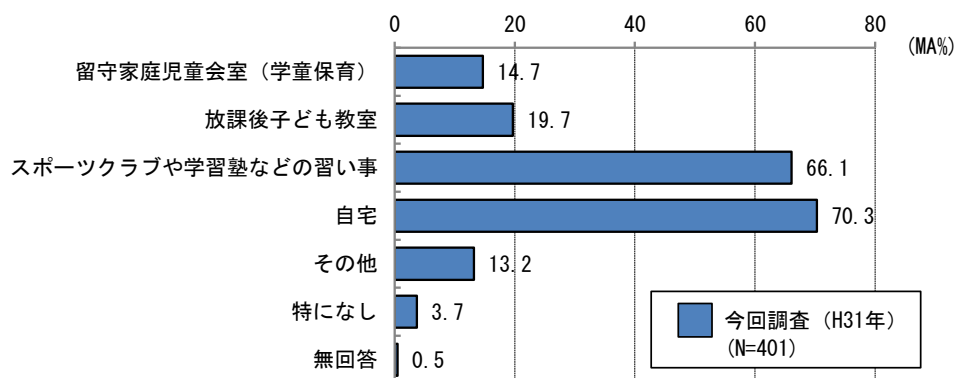
◎「留守家庭児童会室（学童保育）」は、低学年で29.2%、高学年で14.7%。

- ・小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が59.9%と最も多く、次いで、「スポーツクラブや学習塾などの習い事」が49.4%となっています。
- ・小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所は、「自宅」が70.3%と最も多く、次いで、「スポーツクラブや学習塾などの習い事」が66.1%となっています。

【小学校低学年時（1～3年生）に放課後を過ごさせたい場所】



【小学校高学年時（4～6年生）に放課後を過ごさせたい場所】



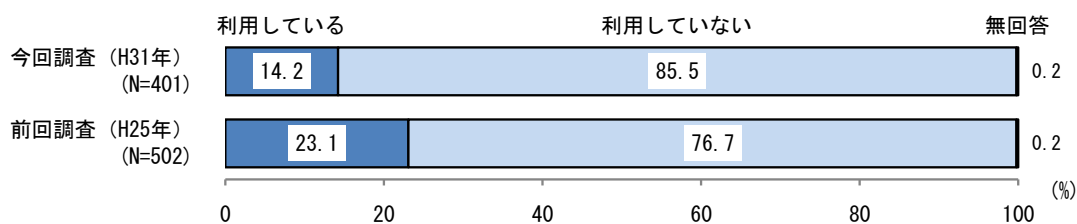
## 8 留守家庭児童会室（学童保育）の利用（就学前児童・就学児童）

### 〔1〕留守家庭児童会室（学童保育）の利用状況【就学児童 問15】

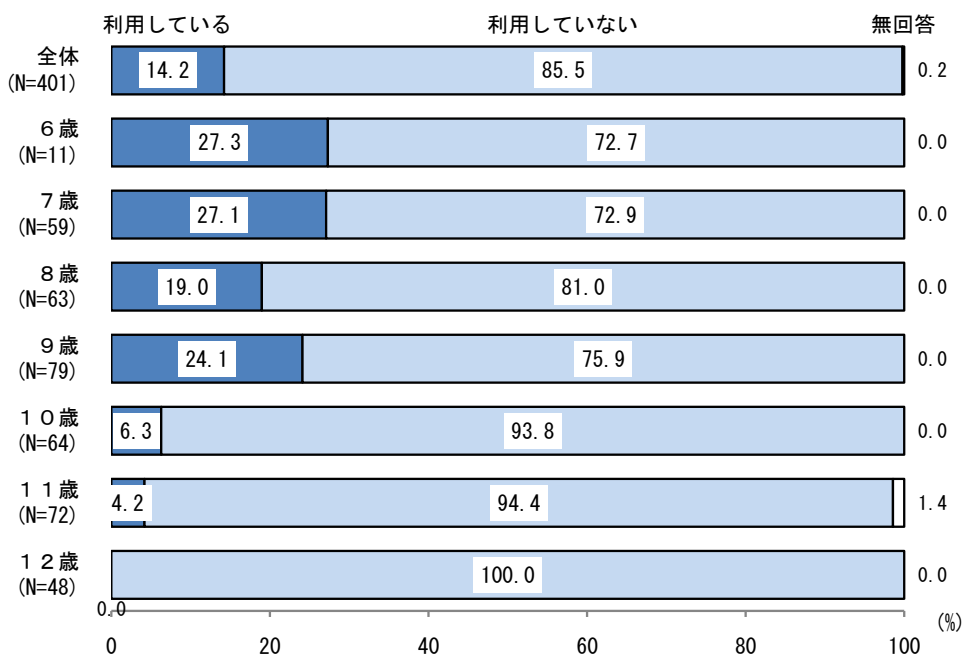
◎「利用している」は1割強。6～9歳では2割弱～3割弱。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」は14.2%で、前回調査に比べて、8.9ポイント減少しています。
- ・年齢別にみると、「6歳」から「9歳」までは「利用している」が2割弱～3割弱みられますが、10歳以上は9割以上が「利用していない」と回答しています。

【留守家庭児童会室（学童保育）の利用状況】



【年齢別 留守家庭児童会室（学童保育）の利用状況】

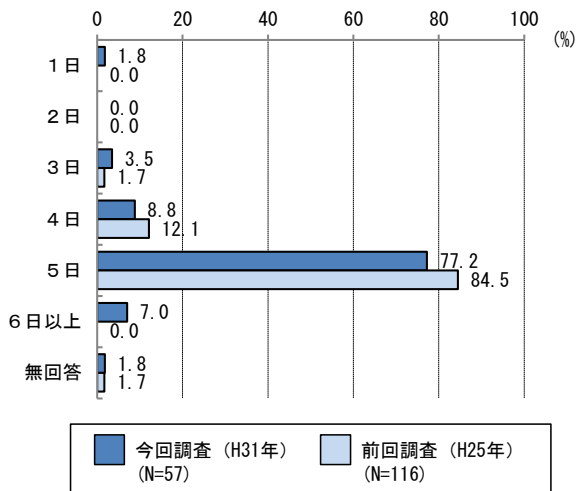


## 〔2〕 平日の利用状況と利用希望【就学児童 問16-1】

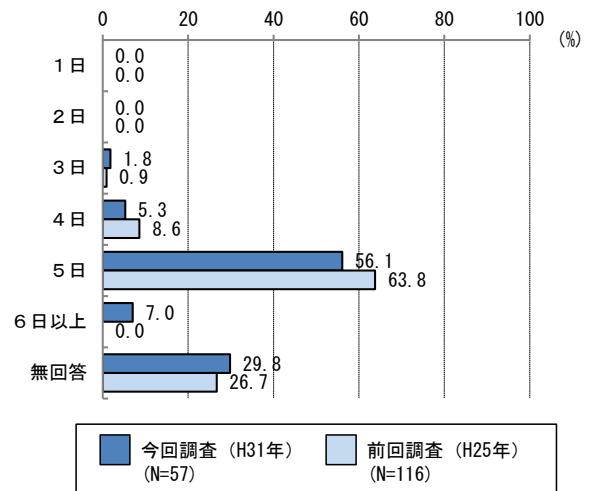
◎平日の利用日数は週に「5日」、終了時間は「17時台」。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、平日の1週あたりの利用日数は、現在、希望ともに「5日」（現在 77.2%、希望 56.1%）が最も多くなっています。
- ・利用終了時間は、現在、希望ともに「17時台」（現在 77.2%、希望 47.4%）が最も多くなっています。

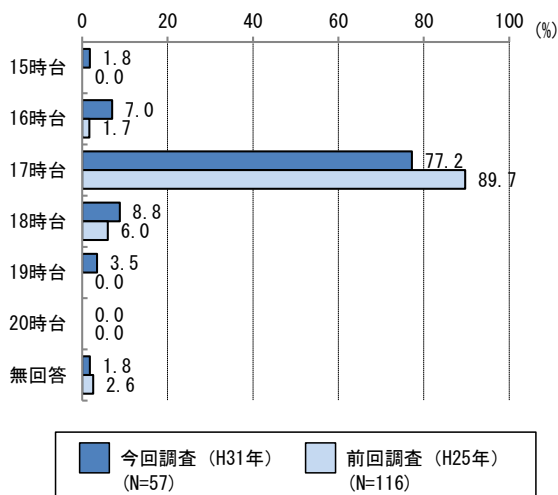
【平日の1週あたりの利用日数（現在）】



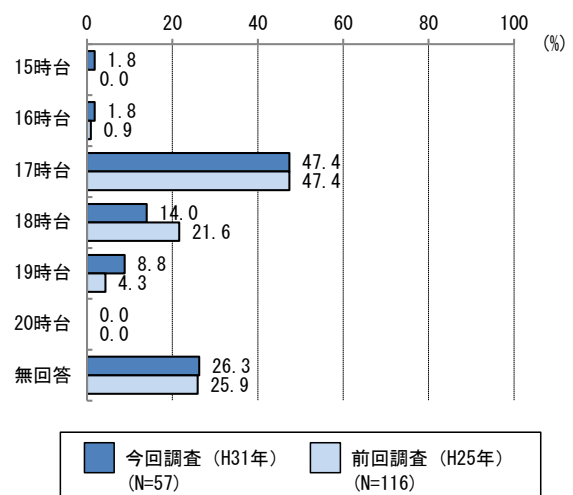
【平日の1週あたりの利用日数（希望）】



【平日の利用終了時間（現在）】



【平日の利用終了時間（希望）】

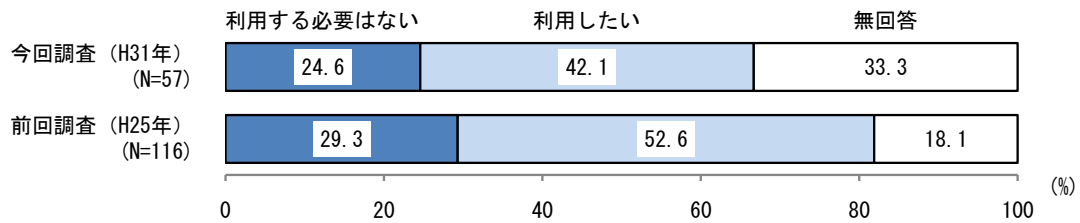


### 〔 3 〕 利用者の土曜日の利用希望【就学児童 問16-1】

◎現在の利用者のうち、土曜日の利用希望は4割。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、今後の土曜日の利用希望は、「利用したい」が42.1%、「利用する必要はない」が24.6%となっています。

【土曜日の利用希望】

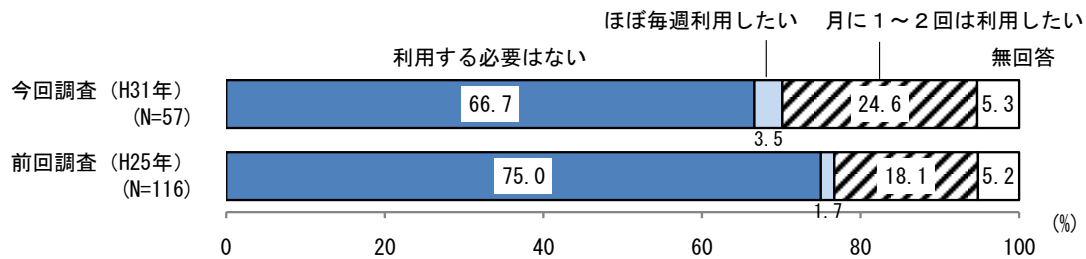


### 〔 4 〕 利用者の日曜日・祝日の利用希望【就学児童 問16-3】

◎現在の利用者のうち、日曜日・祝日の利用希望は3割。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）を「利用している」方の、日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が3.5%、「月に1～2回は利用したい」が24.6%で、利用希望者は合計28.1%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は8.3ポイント増加しています。

【日曜日・祝日の利用希望】



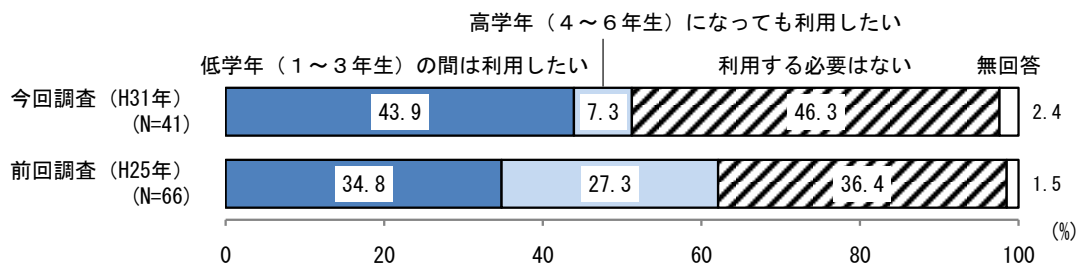
## 〔5〕未利用者の利用意向

### （1）就学前児童【就学前児童 問30、31】

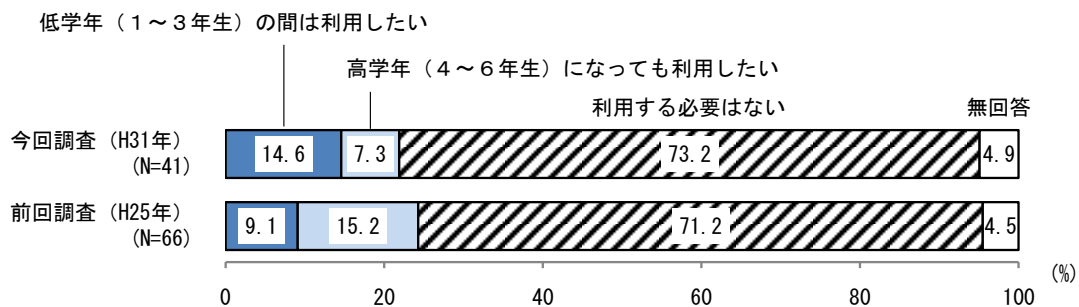
◎土曜日は5割、日曜日・祝日は2割、長期休暇中は9割の利用意向。

- ・放課後を過ごさせたい場所で「留守家庭児童会室（学童保育）」を選択した方の、土曜日の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が43.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.3%で、利用希望者は合計51.2%となっています。
- ・日曜日・祝日の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が14.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.3%で、利用希望者は合計21.9%となっています。
- ・長期休暇中の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が63.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.8%で、利用希望者は合計90.2%となっています。

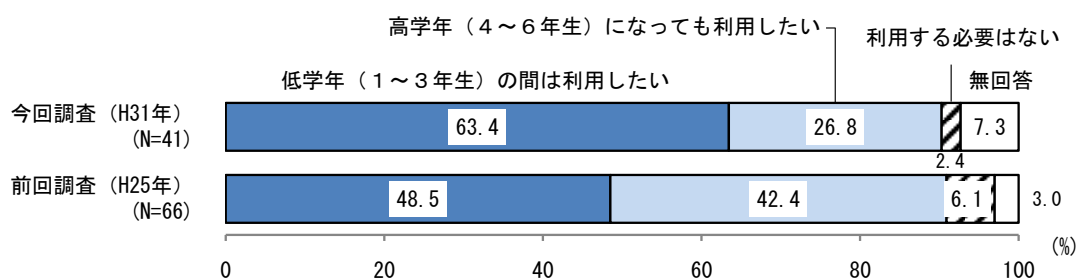
#### 【土曜日の利用希望】



#### 【日曜日・祝日の利用希望】



#### 【長期休暇中の利用希望】



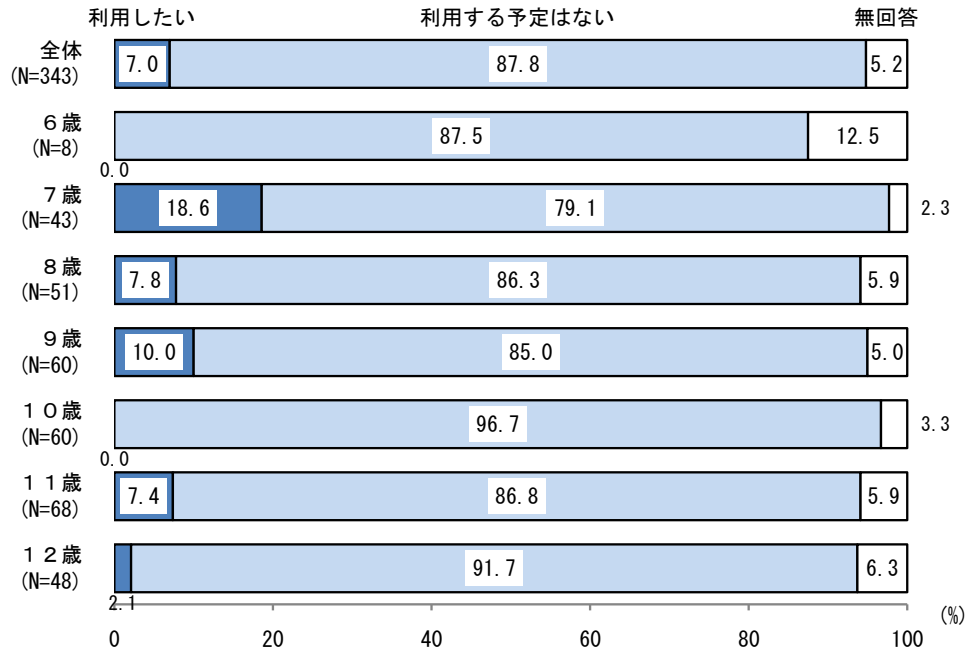


## (2) 就学児童【就学児童 問17-1】

◎未利用者の利用意向は1割弱。7歳で2割弱。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）を「利用していない」方の今後の利用意向は、「利用したい」が7.0%、「利用する予定はない」が87.8%となっています。
- ・年齢別にみると、「利用したい」は「7歳」で18.6%とやや多くなっていますが、それ以外の年齢では8割以上が「利用する予定はない」と回答しています。

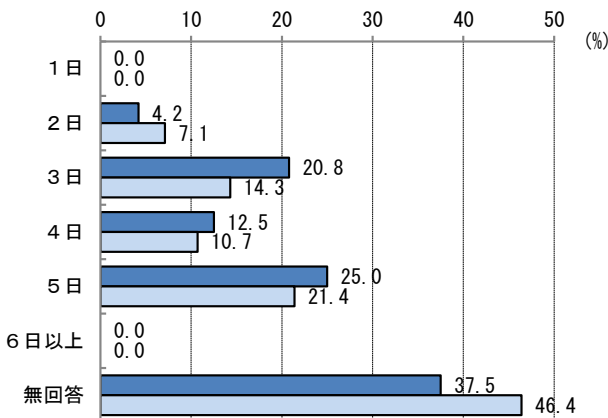
【未利用者の今後の利用意向】



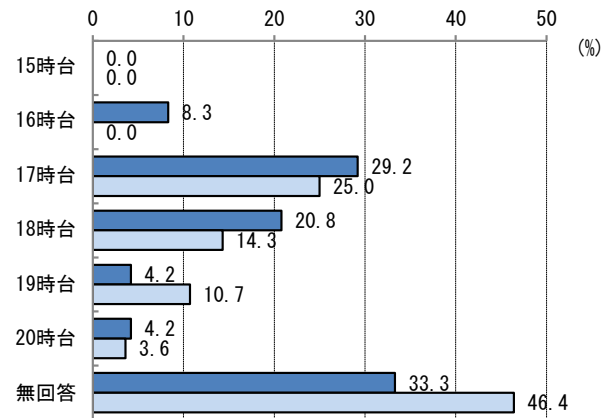
◎未利用者の平日の希望利用日数は週に「5日」、希望終了時間は「17時台」。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方の、平日の1週あたりの希望利用日数は、「5日」(25.0%)が最も多く、次いで、「3日」(20.8%)となっています。希望利用終了時間は、「17時台」(29.2%)が最も多く、次いで、「18時台」(20.8%)となっています。

【平日の1週あたりの希望利用日数】



【平日の希望利用終了時間】



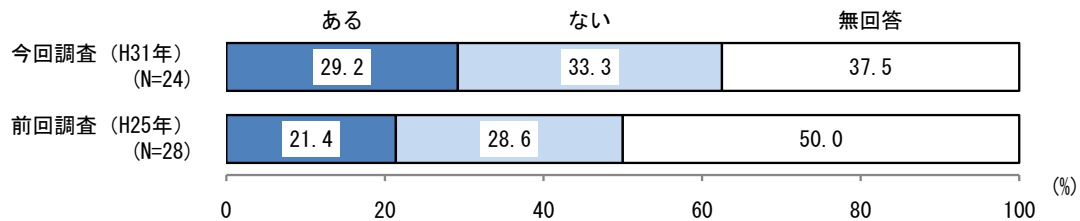
■ 今回調査 (H31年) (N=24)    □ 前回調査 (H25年) (N=28)

■ 今回調査 (H31年) (N=24)    □ 前回調査 (H25年) (N=28)

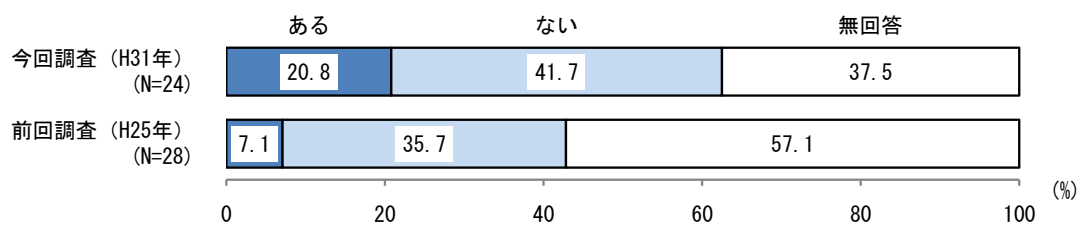
◎未利用者の土曜日の利用希望は 3 割、日曜日・祝日が約 2 割、長期休暇中の平日が 7 割強。

- ・留守家庭児童会室（学童保育）未利用者で、今後の利用希望がある方のうち、土曜日の利用希望が「ある」方は 29.2%、「ない」は 33.3%となっています。
- ・日曜日・祝日の利用希望が「ある」方は 20.8%、「ない」は 41.7%となっています。
- ・長期休業中の平日の利用希望が「ある」方は 75.0%となっています。

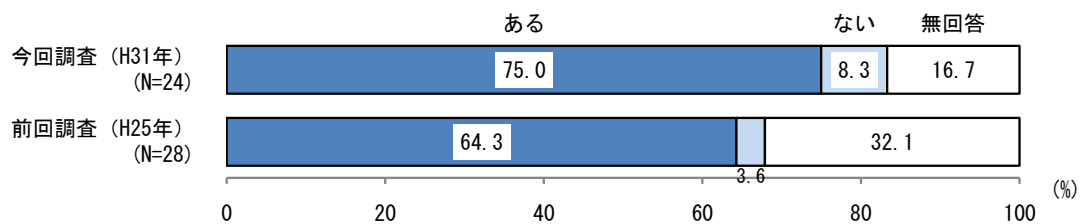
【土曜日の利用希望】



【日曜日・祝日の利用希望】



【長期休暇中の平日の利用希望】



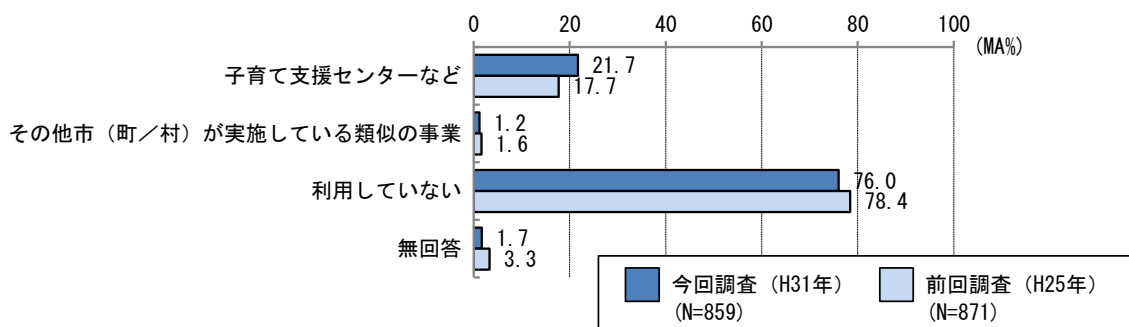
## 9 地域の子育て支援サービスの利用（就学前児童）

### 〔1〕子育て支援センターなどの利用状況【就学前児童 問35】

◎「子育て支援センターなど」の利用者は2割。

- ・「子育て支援センターなど」を利用している人は21.7%、「その他市（町／村）が実施している類似の事業」は1.2%、「利用していない」が76.0%となっています。

【子育て支援センターなどの利用状況】

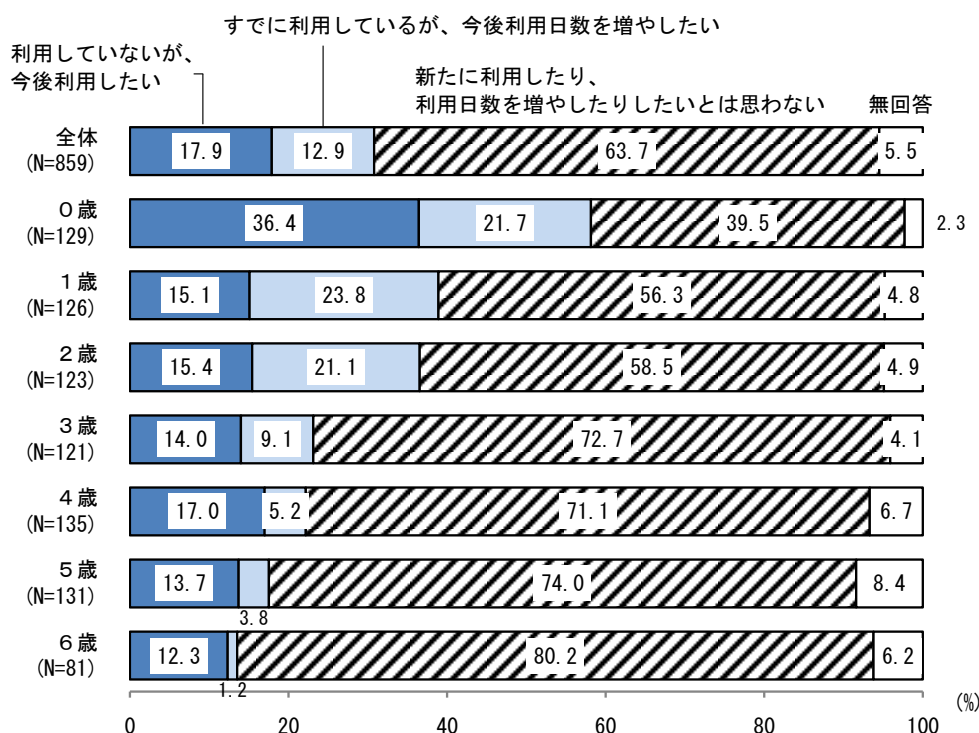


### 〔2〕子育て支援センターなどの今後の利用希望【就学前児童 問36】

◎新規利用、利用増の希望がある人は合わせて3割。「0歳」では約6割。

- ・子育て支援センターなどについての今後の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」が17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.9%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が63.7%となっています。
- ・年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は「0歳」で36.4%と最も多く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は「0歳」「1歳」「2歳」で2割程度となっています。

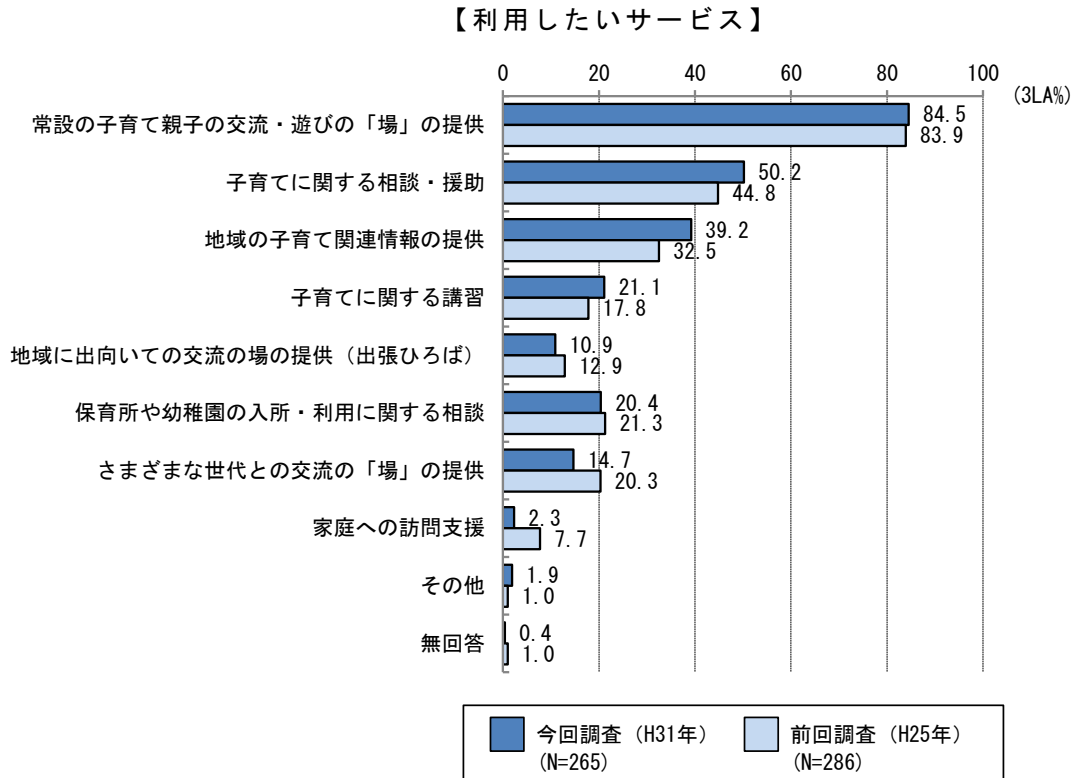
【子育て支援センターなどの今後の利用希望】



### 〔3〕子育て支援センターなどで利用したいサービス内容【就学前児童 問36-1】

◎「常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供」が84.5%。

- ・子育て支援センターなどを「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方の利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流・遊びの「場」の提供」が84.5%と最も多く、次いで、「子育てに関する相談・援助」が50.2%、「地域の子育て関連情報の提供」が39.2%となっています。



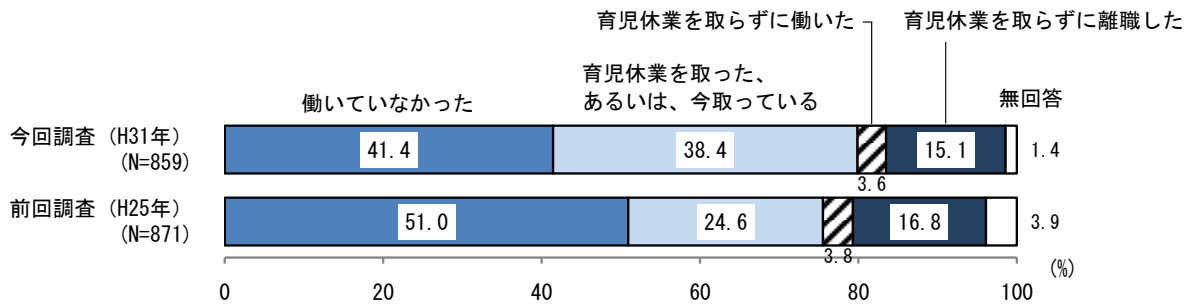
## 10 子育てと仕事の両立（就学前児童）

### 〔1〕母親の育児休業取得状況【就学前児童 問23】

◎「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は約4割。

- ・母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が38.4%で、前回調査に比べて13.8ポイント増加しています。

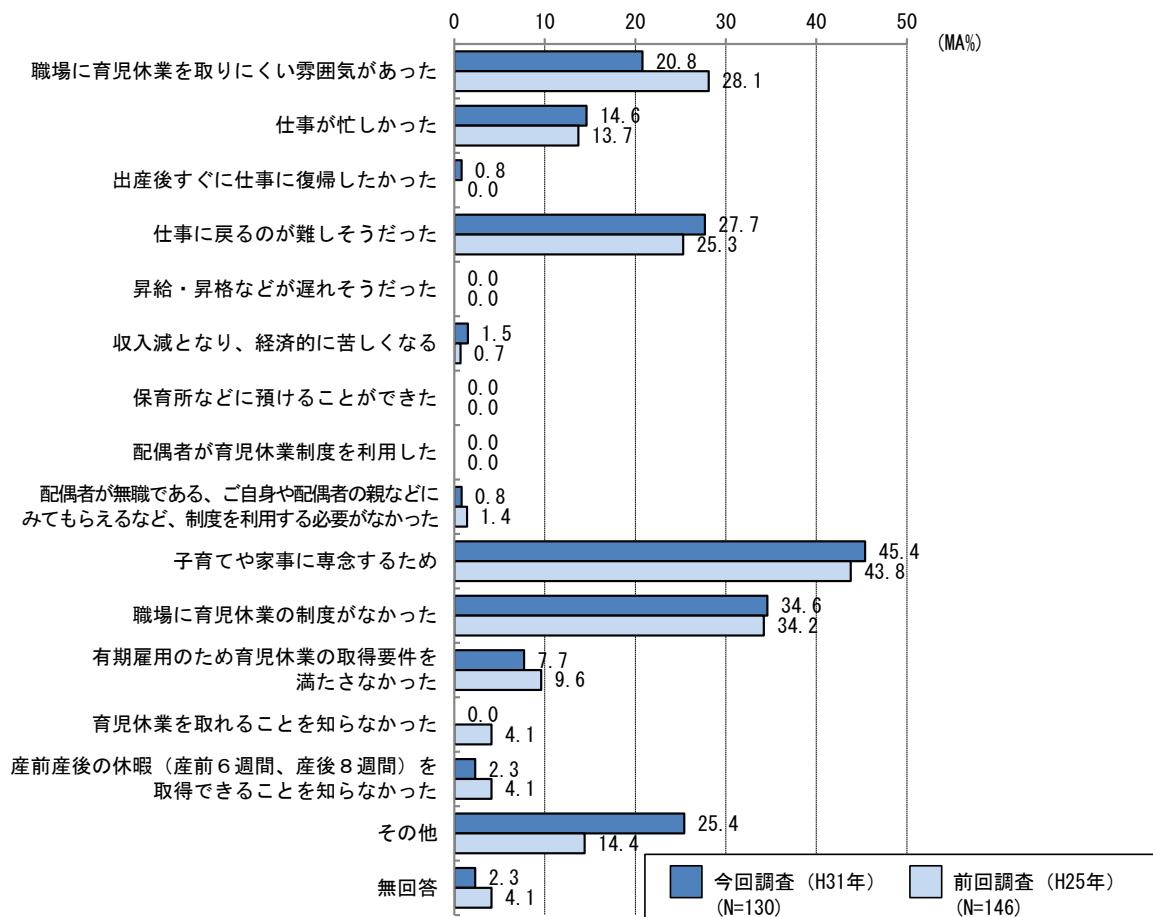
【母親の育児休業取得状況】



◎離職の理由は「子育てや家事に専念するため」が45.4%。

- ・「育児休業を取らずに離職した」人は全体の15.1%で、その理由は、「子育てや家事に専念するため」が45.4%と最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が34.6%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が27.7%となっています。

【母親の「育児休業を取らずに離職した」理由】

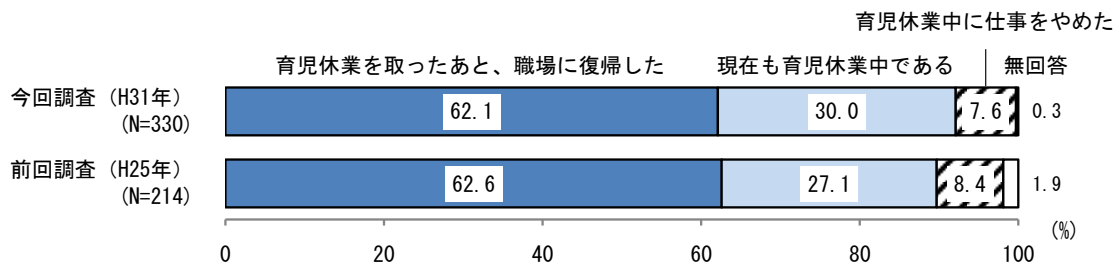


〔2〕母親の育児休業後の職場復帰の状況【就学前児童 問23-1、問23-2、問23-4】

◎「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が6割。

- ・「育児休業を取った、あるいは、今取っている」方に、育児休業後の職場復帰についてたずねたところ、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が62.1%、「現在も育児休業中である」が30.0%、「育児休業中に仕事をやめた」が7.6%となっています。

【母親の育児休業後の職場復帰の状況】

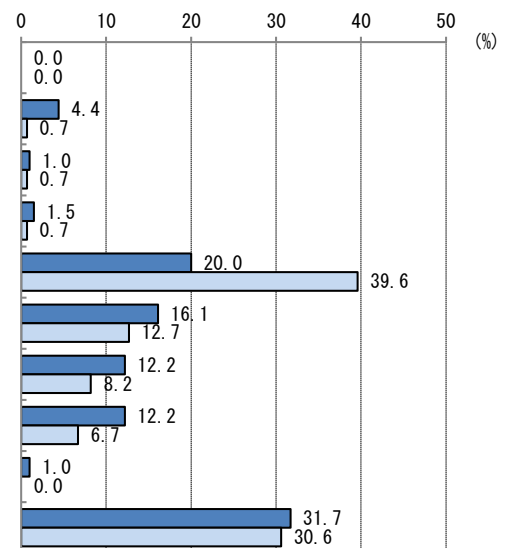
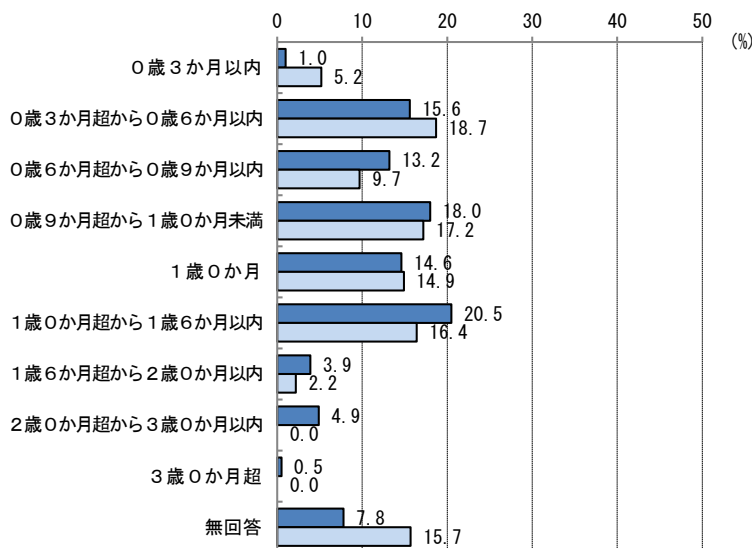


◎育児休業の実際の取得期間は「0歳3か月」から「1歳6か月以内」の間。希望は「1歳0か月」以上。

- ・「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」方の実際の取得期間は、「1歳0か月超から1歳6か月以内」が20.5%と最も多く、希望の取得期間は、「1歳0か月」が20.0%と最も多くなっています。

【育児休業取得期間（実際）】

【育児休業取得期間（希望）】

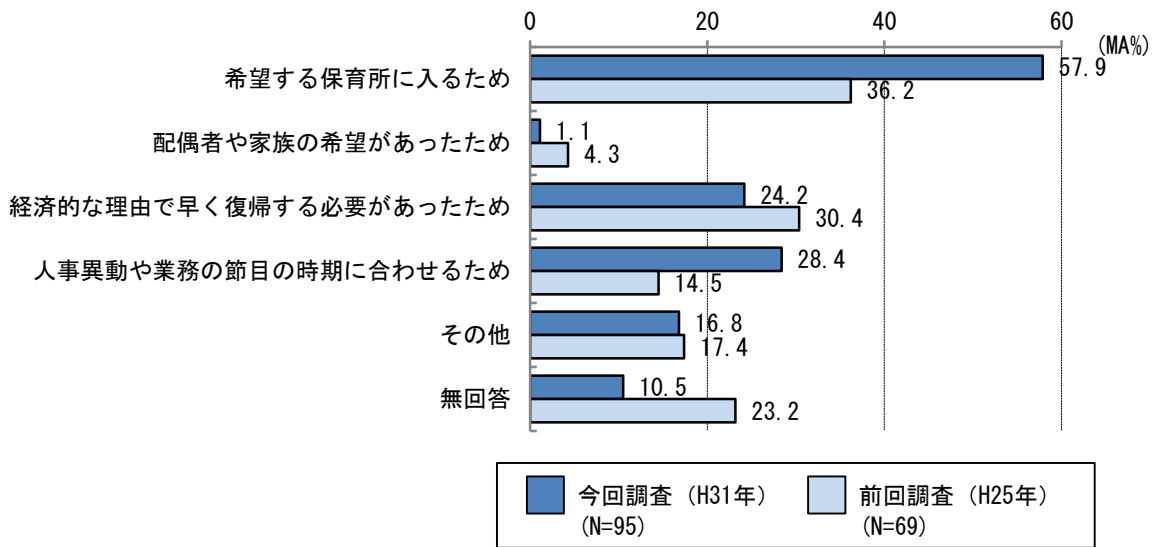


■ 今回調査 (H31年) (N=205) □ 前回調査 (H25年) (N=134)

■ 今回調査 (H31年) (N=205) □ 前回調査 (H25年) (N=134)

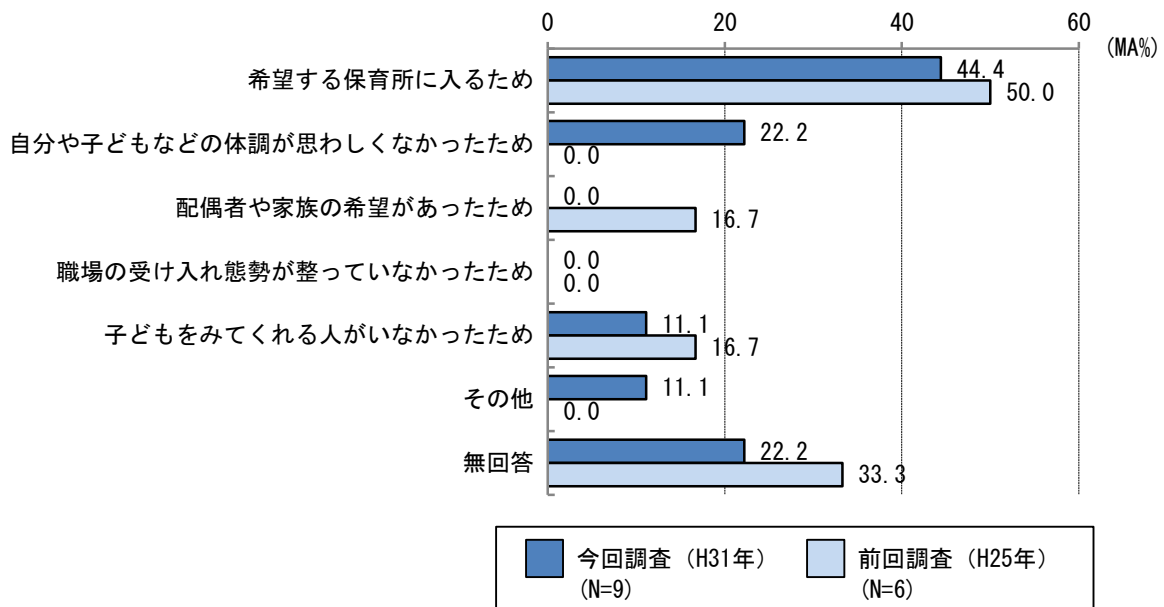
◎希望より早く復帰した理由は「希望する保育所に入るため」が6割。

- ・希望の時期に職場復帰しなかった理由について、希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が57.9%と最も多くなっています。



◎希望より遅く復帰した理由は「希望する保育所に入るため」が4割。

- ・希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が44.4%と最も多くなっています。



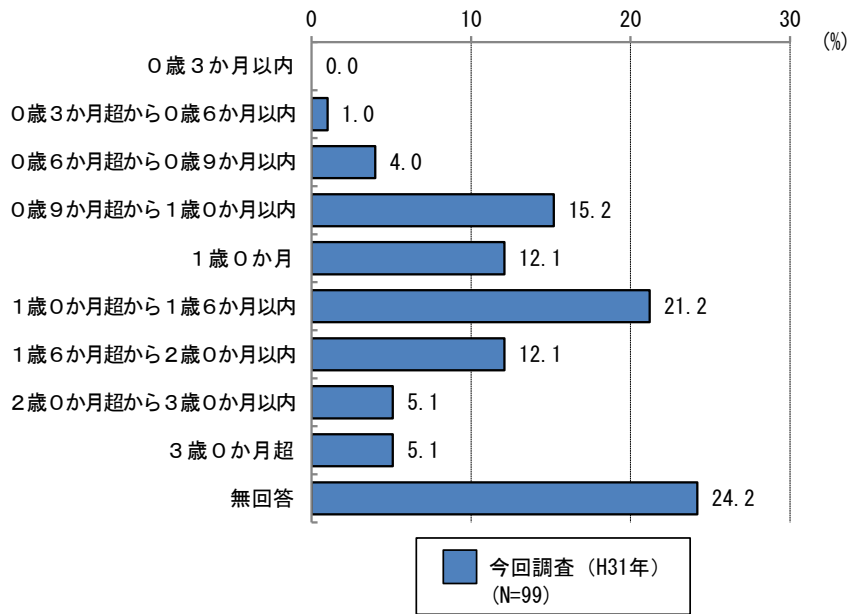
〔3〕育児休業中の母親の職場復帰予定【就学前児童 問23-5、問23-6】

新規設問

◎「1歳0か月超から1歳6か月以内」が21.2%。

- ・「現在も育児休業中である」母親の予定取得期間は、「1歳0か月超から1歳6か月以内」が21.2%と最も多くなっています。

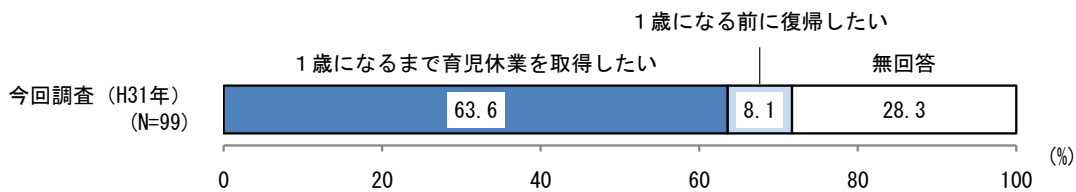
【育児休業中の母親の職場復帰予定】



◎預けられる事業があれば「1歳になるまで育児休業を取得したい」が6割。

- ・「現在も育児休業中である」母親に、子どもが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかをたずねたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が63.6%となっています。

【預けられる事業があれば1歳まで育児休業を取得するか】



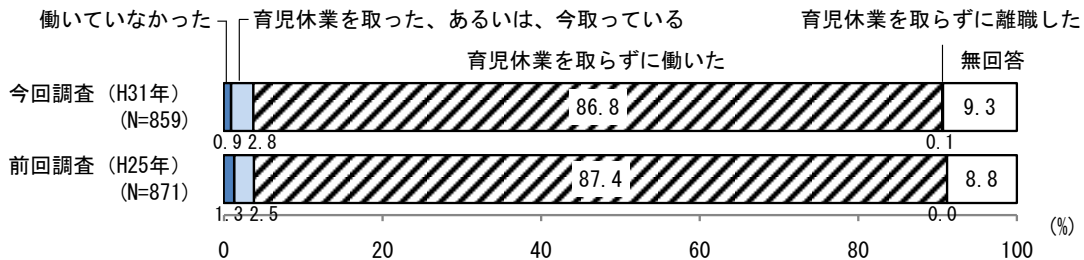


### 〔3〕父親の育児休業取得状況【就学前児童 問24】

◎「育児休業を取らずに働いた」が9割弱。

- ・父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が86.8%と最も多くなっています。

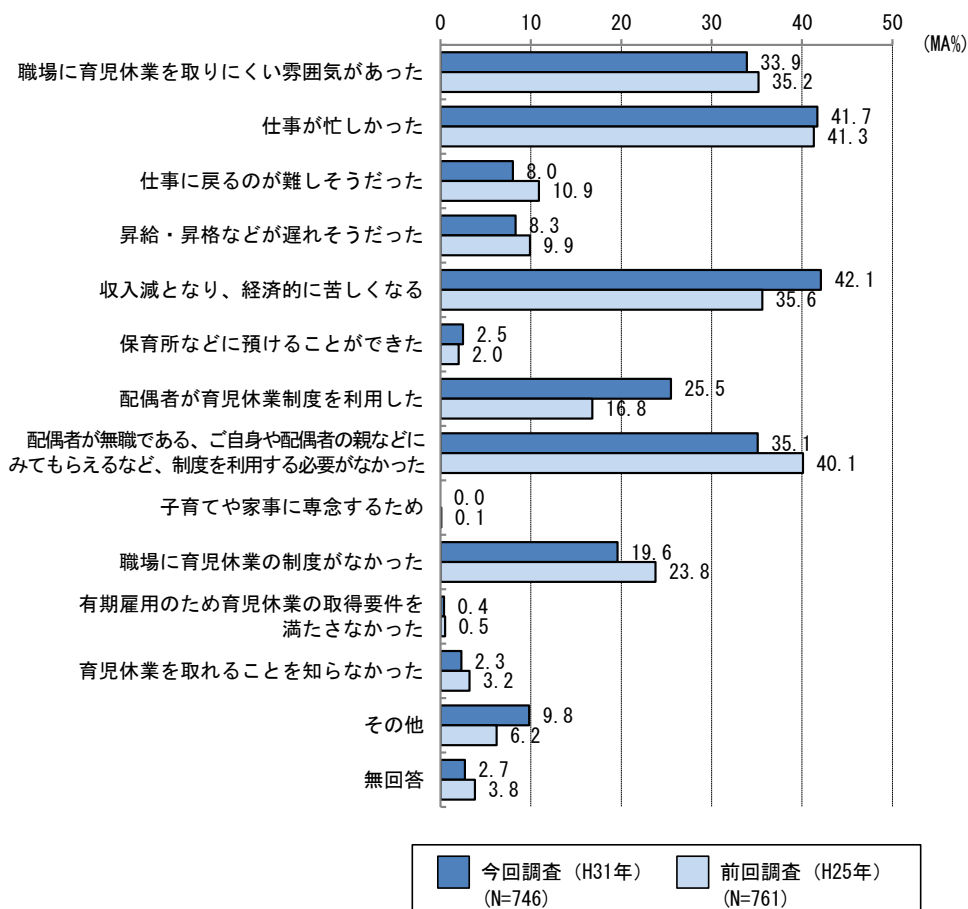
【父親の育児休業取得状況】



◎「収入減となり、経済的に苦しくなる」が42.1%。

- ・「育児休業を取らずに働いた」人は全体の86.8%で、その理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が42.1%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が41.7%となっています。

【父親の「育児休業を取らずに働いた」理由】



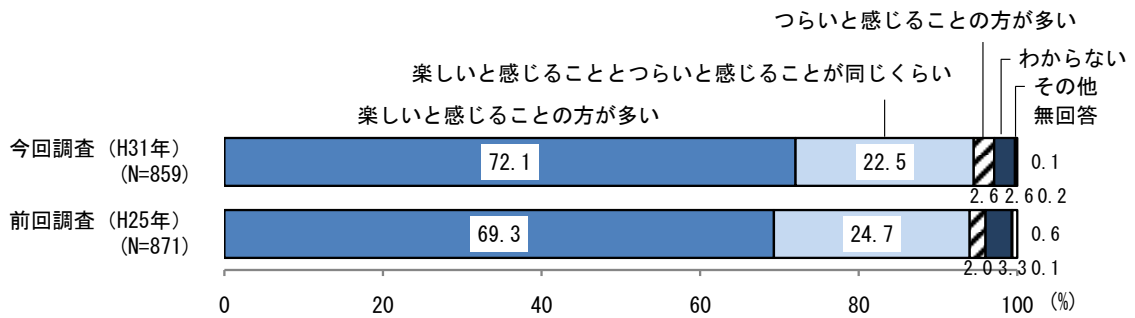
# 11 子育てに関する意識・動向（就学前児童・就学児童）

## 〔1〕子育ての楽しさ【就学前児童 問45/就学児童 問34】

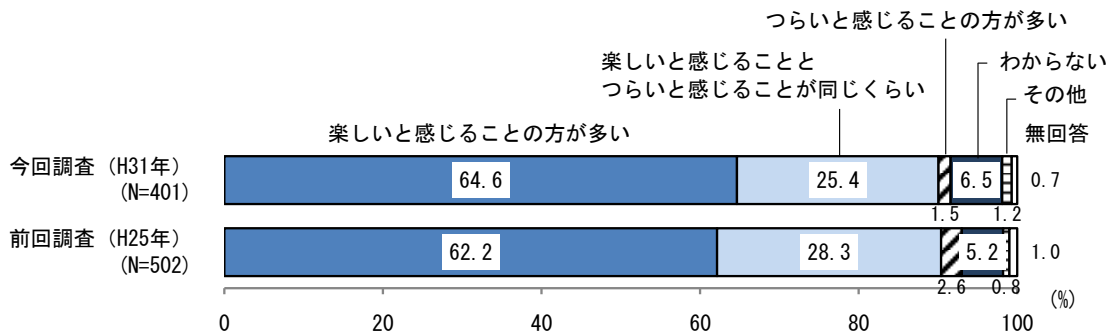
◎子育てが「楽しいと感じることの方が多い」保護者は、  
就学前児童で72.1%、就学児童で64.6%。

- ・就学前児童の保護者で、子育てを「楽しいと感じることの方が多い」人は72.1%と多く、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の人は22.5%となっています。
- ・就学児童の保護者では、「楽しいと感じることの方が多い」人は64.6%、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」は25.4%となっています。

【就学前児童 子育ての楽しさ】



【就学児童 子育ての楽しさ】

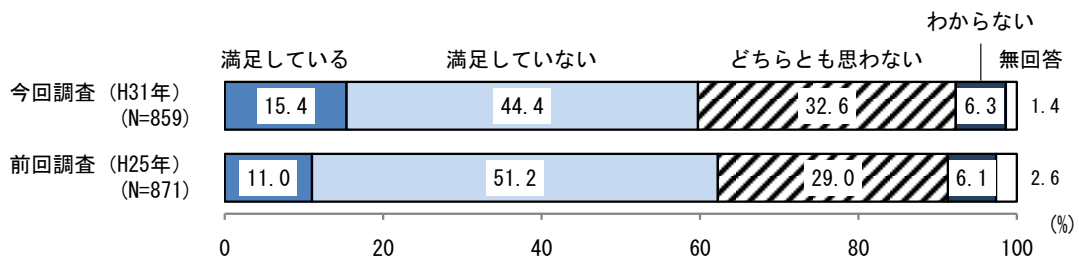


## 〔2〕遊び場の満足度【就学前児童 問41／就学児童 問30】

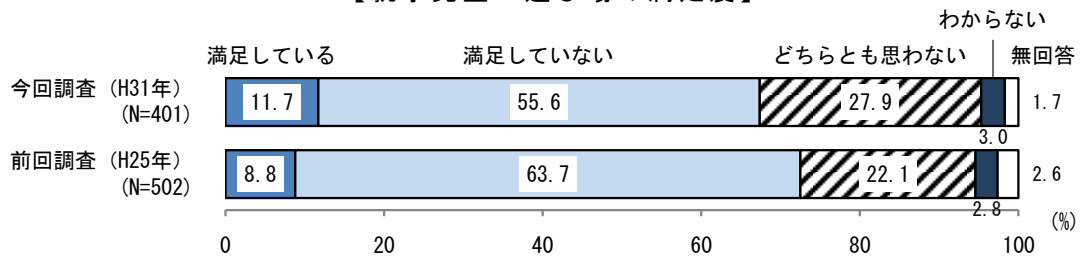
◎地域の遊び場に「満足」している保護者は、  
就学前児童で 15.4%、就学児童で 11.7%。

- ・就学前児童の保護者が、地域における子どもの遊び場に、「満足している」は 15.4%、「満足していない」は 44.4%で、前回調査に比べて、「満足している」は 4.4 ポイント増加しています。
- ・就学児童の保護者では、「満足している」は 11.7%、「満足していない」は 55.6%で、前回調査に比べて、「満足している」は 2.9 ポイント増加しています。

【就学前児童 遊び場の満足度】



【就学児童 遊び場の満足度】

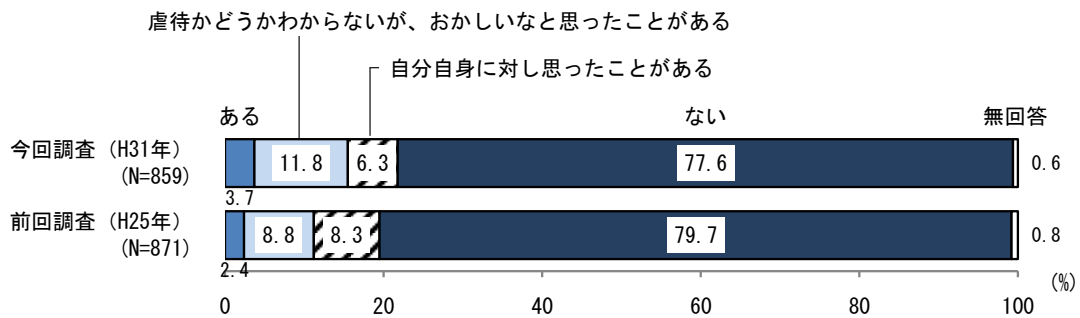


### 〔3〕子どもの虐待を見聞きした経験【就学前児童 問43/就学児童 問32】

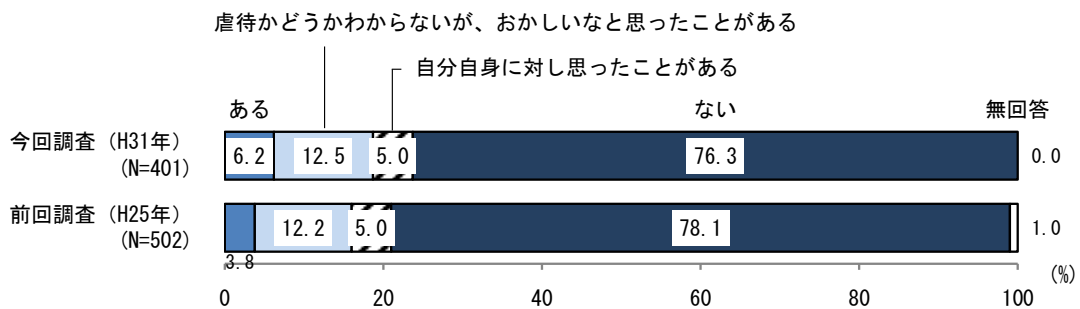
◎「虐待を見聞きしたことがある」保護者は、  
就学前児童で21.8%、就学児童で23.7%。

- ・就学前児童の保護者が、身近なところで子どもの虐待を見たり聞いたりした経験は「ない」が77.6%と多く、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」「自分自身に対し思ったことがある」を含めた『ある』の合計は21.8%となっています。
- ・就学児童の保護者では、「ない」が76.3%で、『ある』の合計は23.7%となっています。

【就学前児童 虐待を見聞きした経験】



【就学児童 虐待を見聞きした経験】

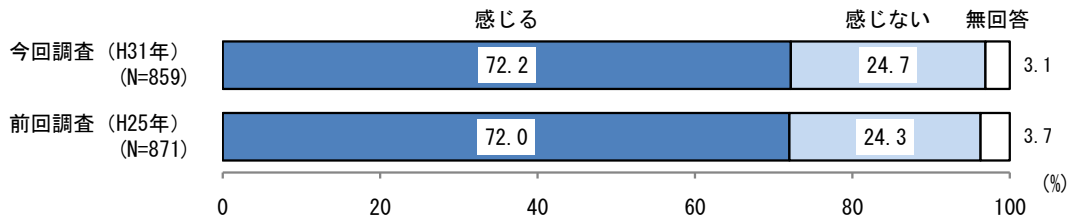


〔4〕地域で子育てが支えられているか【就学前児童 問47/就学児童 問36】

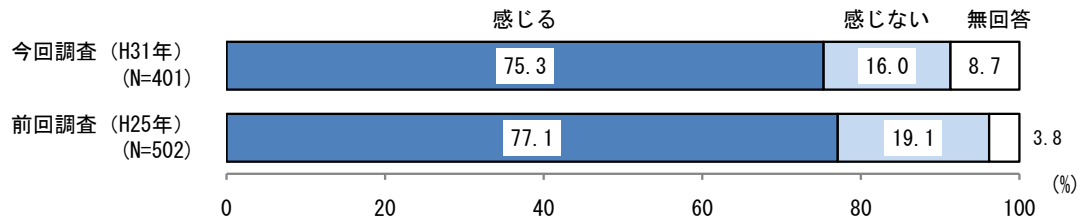
◎「自身の子育てが地域に支えられていると感じる」保護者は、就学前児童で72.2%、就学児童で75.3%。

- ・就学前児童の保護者では、「感じる」は72.2%となっています。
- ・就学児童の保護者では、「感じる」は75.3%となっています。

【就学前児童 自身の子育てが地域に支えられていると感じるか】



【就学児童 自身の子育てが地域に支えられていると感じるか】



## 12 妊娠中の方への調査

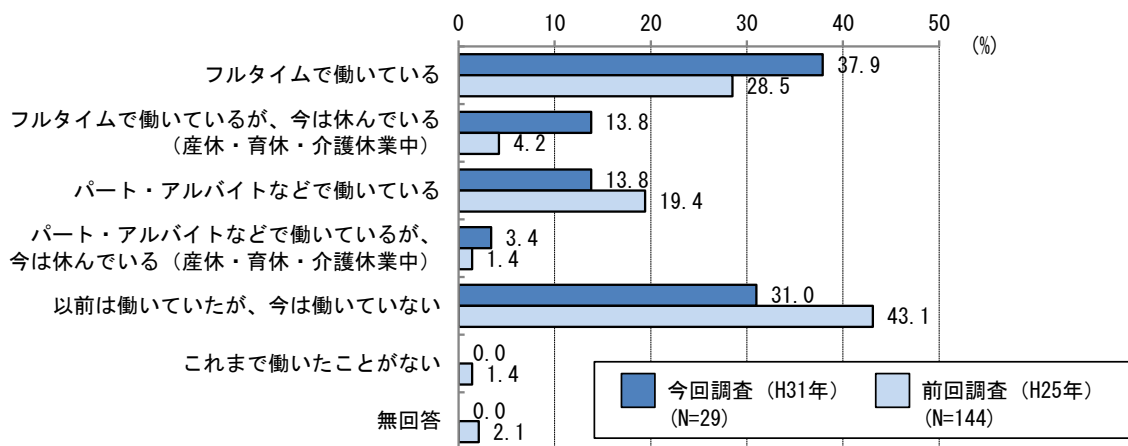
### 〔1〕就労状況【妊娠中の方問4】

◎回答者の就労率は約7割。そのうち半数はフルタイム就労（休業中含む）。

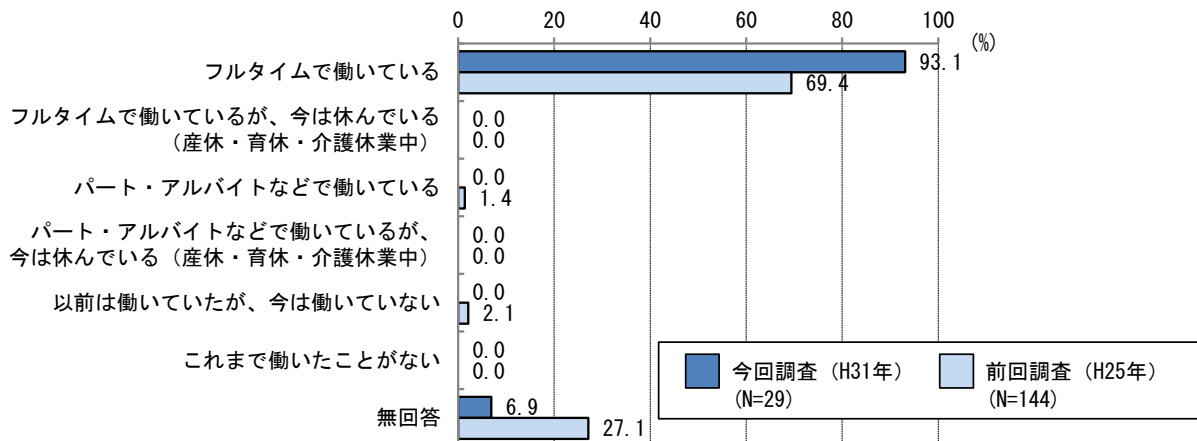
◎前回調査よりフルタイム就労の割合が増加。

- ・回答者本人の就労状況は、「フルタイムで働いている」の合計（休業中含む）が51.7%、「パート・アルバイトなどで働いている」の合計が17.2%、未就労者が31.0%となっています。
- ・配偶者の方の就労状況は、回答のあった方すべてが「フルタイムで働いている」で、93.1%となっています。

【回答者本人の就労状況】



【配偶者の就労状況】



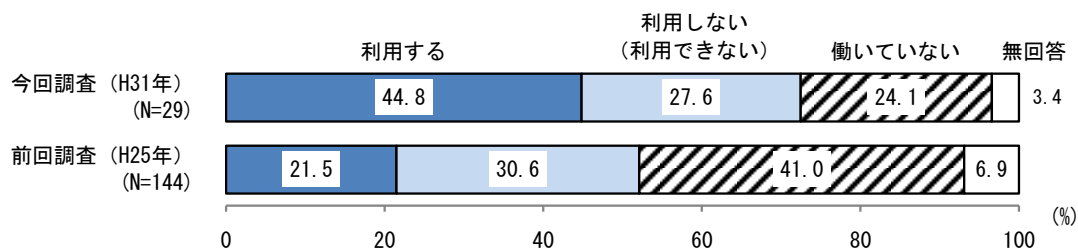
## 〔 2 〕 育児休業制度の利用【妊娠中の方 問 20、 22】

◎育児休業の利用を予定している人は4割強。配偶者の利用は1割弱。

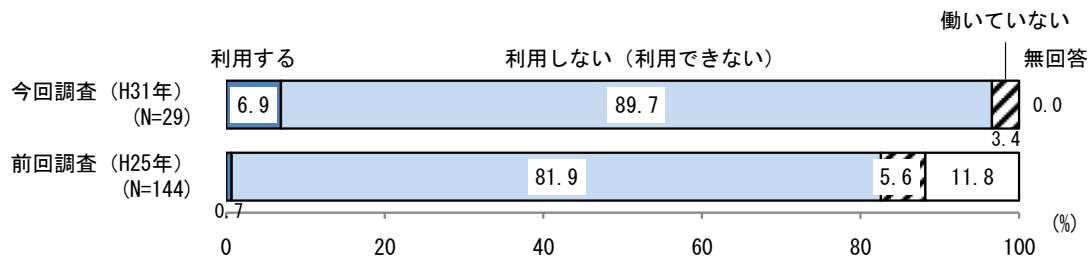
◎期間は「9か月超～1年以内」が約半数。

- ・回答者本人の育児休業制度の利用については、「利用する」が44.8%、「利用しない（利用できない）」が27.6%となっています。
- ・配偶者の育児休業制度の利用については、「利用する」が6.9%、「利用しない（利用できない）」が89.7%となっています。
- ・予定している休業期間は、出産後から「9か月超～1年以内」が46.2%と最も多く、次いで、「1年超～1年6か月以内」が23.1%となっています。

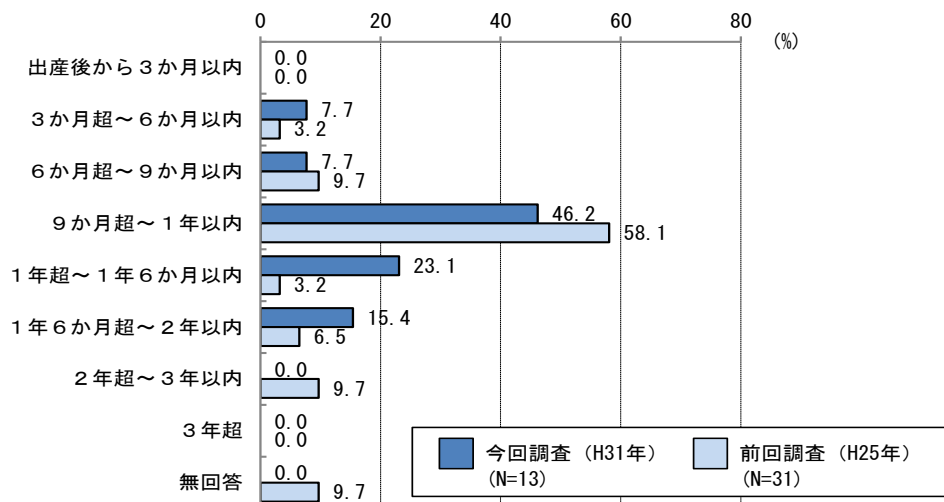
【回答者本人の育児休業制度の利用】



【配偶者の育児休業制度の利用】



【回答者本人の予定する育児休業の期間】

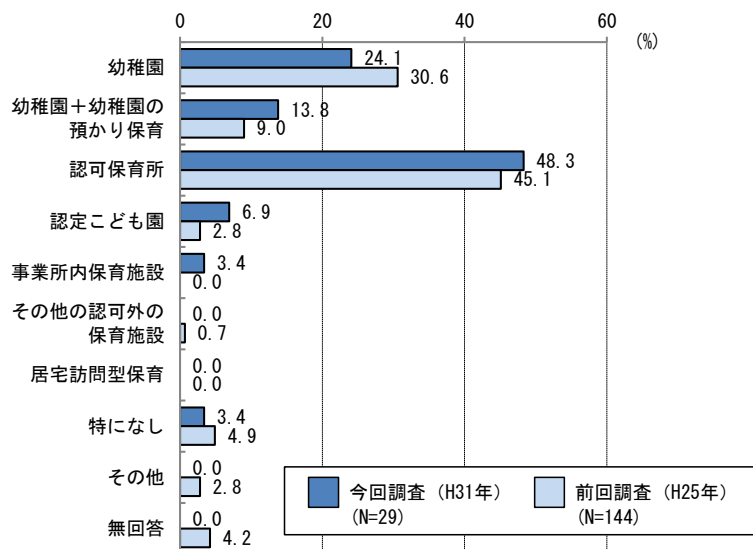


### 〔3〕 保育所・幼稚園等の利用【妊娠中の方 問25】

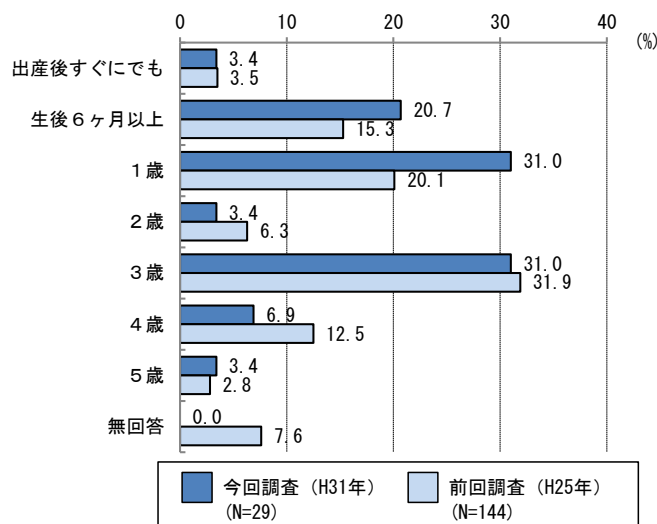
◎約半数が「認可保育所」を希望。「1歳」「3歳」からの利用希望が各3割。

- ・子どもを通わせたい保育所・幼稚園等は、「認可保育所」が48.3%と最も多く、次いで、「幼稚園」が24.1%となっています。
- ・保育所・幼稚園等に通わせたいと思う時期は、「1歳」「3歳」がそれぞれ31.0%と最も多く、次いで、「生後6ヶ月以上」が20.7%となっています。

【子どもを通わせたい施設】



【通わせたい時期】





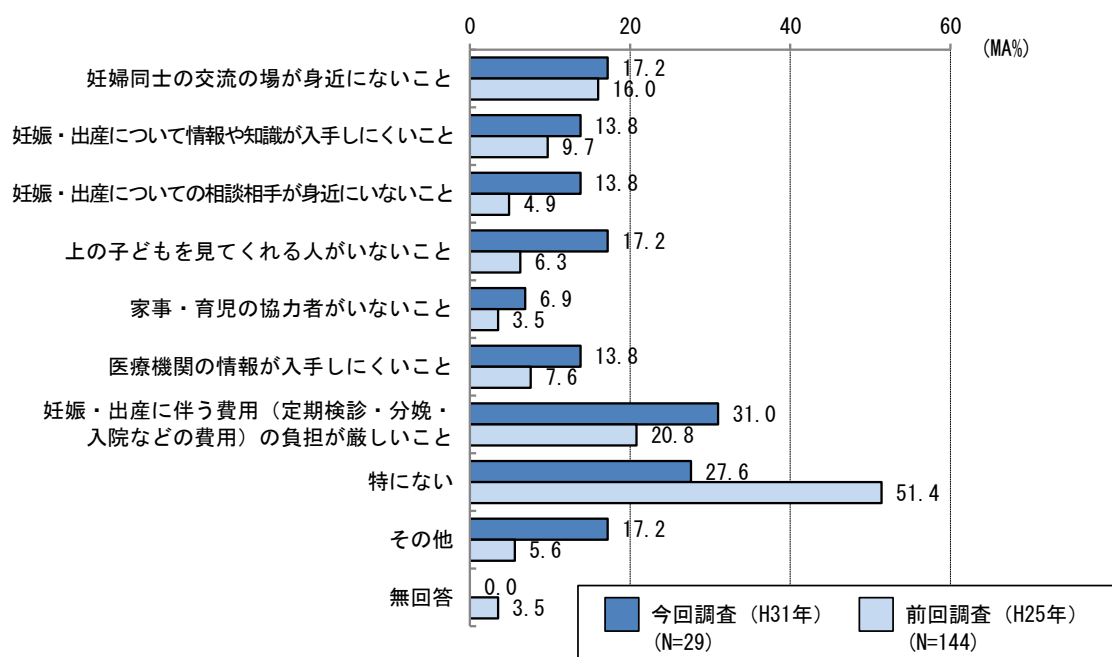
#### 〔4〕妊娠・出産・育児への不安や負担、困ったこと【妊娠中の方 問17、18】

◎困ったことは、「妊娠・出産に伴う費用の負担が厳しいこと」。

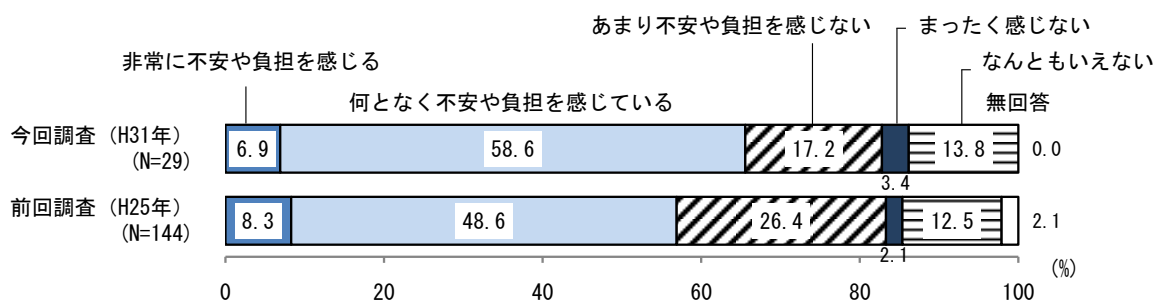
◎出産や育児に『不安や負担を感じる』は7割弱。

- ・妊娠や出産について困ったことは、「妊娠・出産に伴う費用（定期検診・分娩・入院などの費用）の負担が厳しいこと」が31.0%と最も多く、次いで、「妊婦同士の交流の場が身近にないこと」「上の子どもを見てくれる人がいないこと」がそれぞれ17.2%となっています。
- ・出産やその後の育児に関して、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じている」の合計）人は65.5%となっています。

【妊娠や出産について困ったこと】



【出産や育児に関しての不安感や負担感】



# 13 市などに充実させてほしい子育て支援サービス

## 〔1〕市などに充実させてほしい子育て支援サービス

【就学前児童 問43／就学児童 問32／妊娠中の方 問31】

◎「小児救急など安心して医療機関を利用できる体制の整備」「子育て世帯への経済的援助の拡充」への要望が多い。

- ・就学前児童の保護者では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が73.9%と最も多くなっています。
- ・就学児童の保護者では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が69.6%と最も多くなっています。
- ・妊娠中の方では、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む」が86.2%と最も多くなっています。

